Business　Survey　Index　　令和 4 年 10-12 月 第 136 回

企業経営者意識調査

令和 4 年 10-12 月の概要

P 1

調査結果

1　経営状況　P 4
2　雇用状況　P 8
3　在庫、価格水準　P 12
4　設備投資の状況　P 14
5　地域別にみる各産業の動向　P 16
6　道内の景況感　P 24
7　業種・地域別企業経営者の声　P 25
8　業況感の長期推移　P 30

特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 31
2　原油・原材料価格高騰の影響について　P 38

調査方法

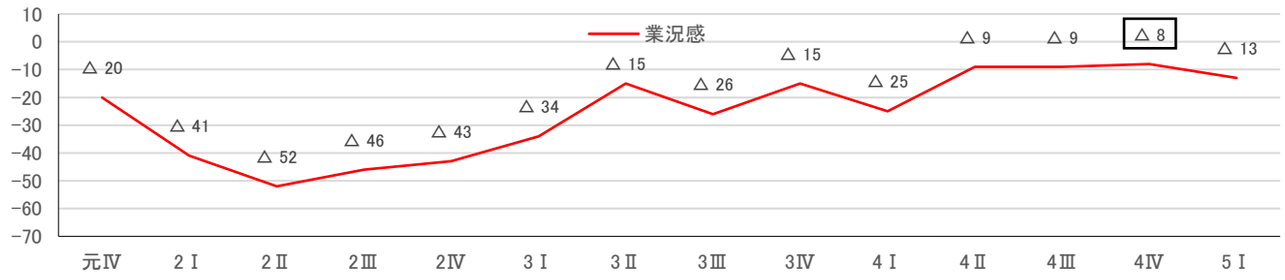
P 42

1　令和４年10-12月の概要

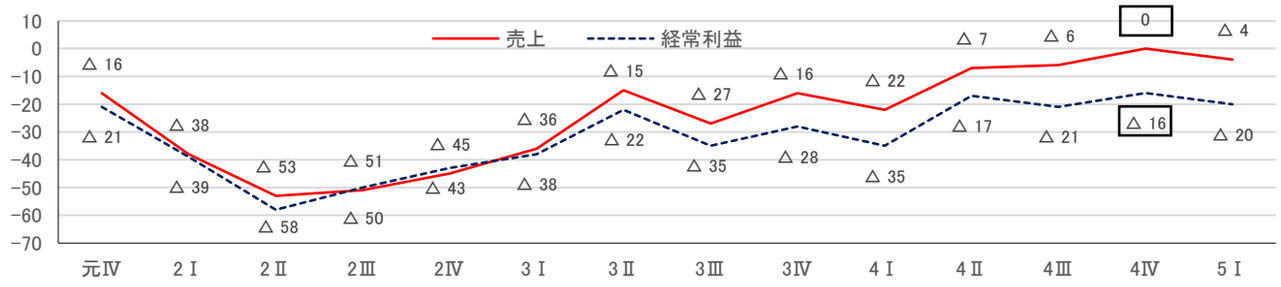
１　概況

- □ 調査対象企業数は900社、回答者数は570社、回答率は63.3%
- □ 業況感は、前期から１ポイント上昇し△８ポイント。来期見通しは△13ポイント。
- □ 売上は、前期から６ポイント上昇し±０ポイント。
- □ 経常利益は、前期から５ポイント上昇し△16ポイント。
- □ 資金繰りは、前期から４ポイント上昇し△５ポイント。
- □ 雇用者の不足感は、前期から３ポイント上昇し46ポイント。
- □ 原材料価格（製造業）は、前期から５ポイント下落し93ポイント。
- □ 仕入価格（卸売･小売業）は、前期から8ポイント上昇し88ポイント。
- □ 道内の景況感は、前期から５ポイント下落し△15ポイント。

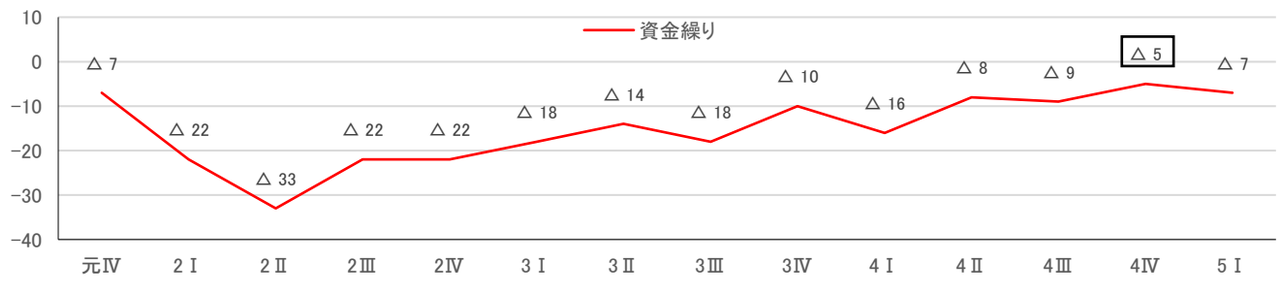
（１）業況感（「上昇」－「下降」）



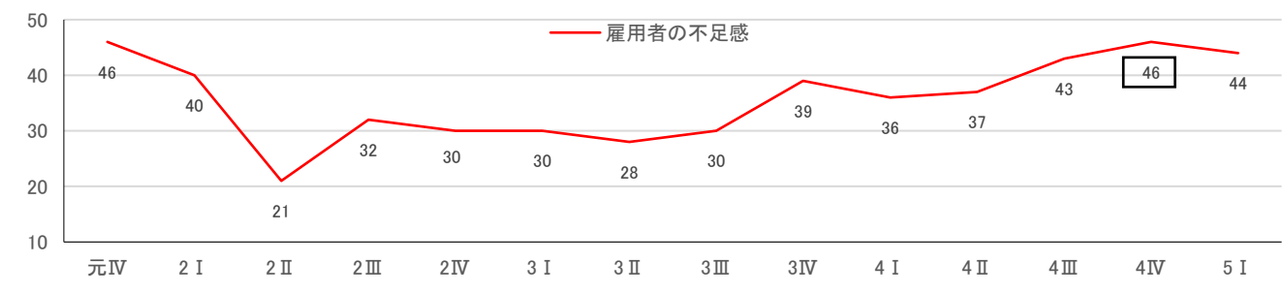
（２）売上・経常利益（「増加」－「減少」）



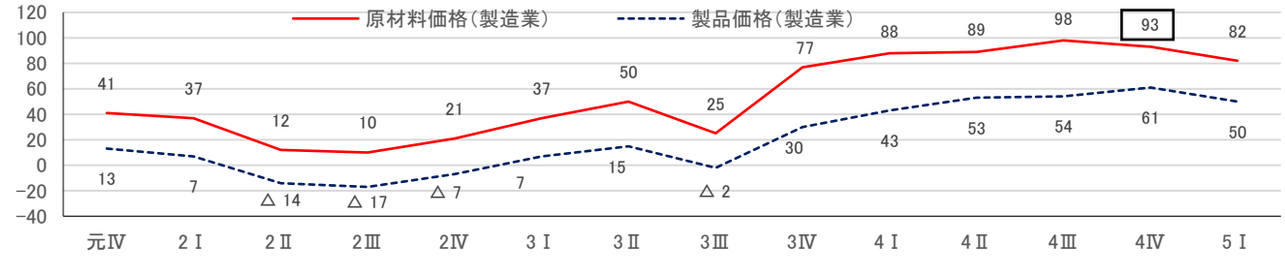
（３）資金繰り（「改善」－「悪化」）



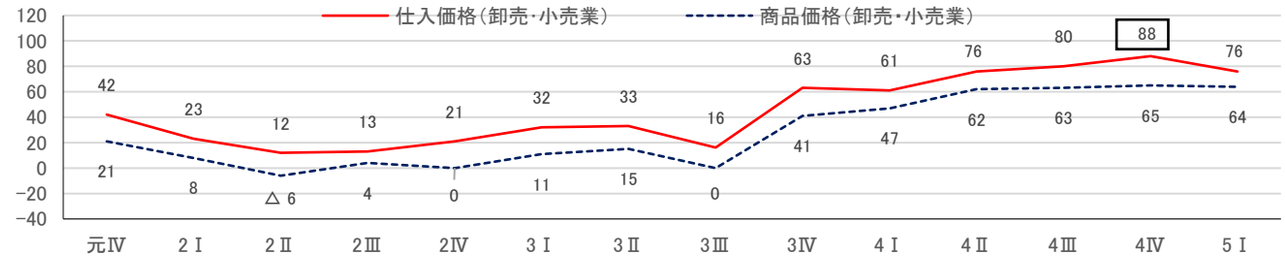
（４）雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



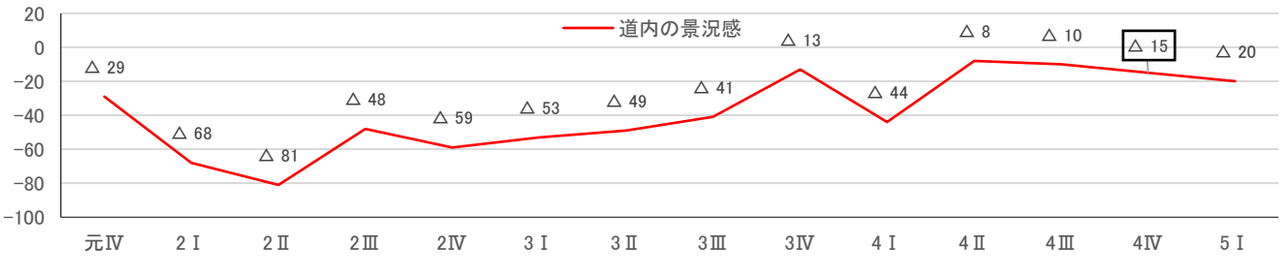
（５）原材料価格・製品価格［製造業］（「上昇」－「下降」）



（６）仕入価格・商品価格［卸売・小売業］（「上昇」－「下降」）



（７）道内の景況感（「上昇」－「下降」）



２　業種別・地域別の業況感

□ 業種別にみると、運輸業がプラスに転換、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業は横ばい、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大。

□ 地域別にみると、道南、オホーツク、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道央は横ばい、道北、十勝はマイナス幅が拡大。

（１）今期実績と来期見通し

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 9	17	58	25	△ 8	1	10	67	23	△ 13	△ 5
業種	建設業	△ 20	3	68	29	△ 26	△ 6	3	71	26	△ 23	3
	製造業	△ 27	15	58	27	△ 12	15	7	65	28	△ 21	△ 9
	卸売・小売業	△ 7	22	49	29	△ 7	0	13	54	33	△ 20	△ 13
	運輸業	△ 7	22	59	19	3	10	16	72	12	4	1
	サービス業	6	21	57	22	△ 1	△ 7	11	70	19	△ 8	△ 7
資本金	5千万円未満	△ 14	16	57	27	△ 11	3	9	65	26	△ 17	△ 6
	5千万円以上～1億円未満	△ 1	19	56	25	△ 6	△ 5	9	68	23	△ 14	△ 8
	1億円以上	2	21	61	18	3	1	18	69	13	5	2
地域	道南	△ 15	18	50	32	△ 14	1	8	62	30	△ 22	△ 8
	道央	1	19	63	18	1	0	13	70	17	△ 4	△ 5
	道北	△ 7	18	50	32	△ 14	△ 7	9	64	27	△ 18	△ 4
	オホーツク	△ 12	18	58	24	△ 6	6	12	61	27	△ 15	△ 9
	十勝	△ 24	11	53	36	△ 25	△ 1	9	60	31	△ 22	3
	釧路・根室	△ 32	11	64	25	△ 14	18	4	69	27	△ 23	△ 9

（２）業種別の主な上昇・下降業種［中分類］

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （△20→△26）		総合工事業（△22→△29） 設備工事業（10→0）
製造業 （△27→△12）	食料品製造業（△18→0） パルプ・紙・紙加工品製造業（△67→0） 化学工業（△20→△14） 生産用機械器具製造業（△70→△50） 電子部品・デバイス・電子回路製造業（△33→0） 輸送用機械器具製造業（△40→△33）	木材・木製品製造業（0→△11） 窯業・土石製品製造業（0→△10） 金属製品製造業（△12→△18）
卸売・小売業 （△７→△７）	繊維・衣服等卸売業（△50→△20） 機械器具卸売業（△20→0） 機械器具小売業（△47→△20）	飲食料品卸売業（9→△7） 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△6→△32） 飲食料品小売業（50→23）
運輸業 （△７→３）	道路貨物運送業（△31→△17） 倉庫業（△19→6）	道路旅客運送業（39→35）
サービス業 （６→△１）	洗濯・理容・美容・浴場業（△7→16） 自動車整備業（△19→△10） 職業紹介・労働者派遣業（△50→△37）	情報サービス業（△20→△26） 物品賃貸業（17→△10） 技術サービス業（△13→△26） 宿泊業（59→37）、飲食店（22→0） 廃棄物処理業（△14→△20）

（３）地域別の上昇・下降業種［大分類］

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

地　　域	上昇業種	下降業種
道南 （△15→△14）	卸売･小売業（△43→△11） 運輸業（△12→36）	建設業（△9→△33） 製造業（△8→△50） サービス業（0→△10）
道央 （１→１）	製造業（△19→△7） サービス業（9→10）	建設業（△12→△24） 卸売･小売業（12→8） 運輸業（4→0）
道北 （△７→△14）	製造業（△35→△10）	建設業（△13→△25） 卸売･小売業（0→△27） 運輸業（8→6） サービス業（4→△16）
オホーツク （△12→△６）	建設業（△45→△18） 製造業（0→22） 運輸業（△18→10）	卸売･小売業（△14→△23） サービス業（16→△20）
十勝 （△24→△25）	製造業（△75→0） 運輸業（△50→△23）	建設業（△18→△40） 卸売･小売業（△25→△30） サービス業（23→△29）
釧路･根室 （△32→△14）	建設業（△36→△18） 製造業（△60→△30） 卸売･小売業（△22→△18） サービス業（△44→0）	

2　調査結果

1　経営状況

（１）業況感

今期の業況感ＢＳＩは △８（前期から１ポイント上昇）

・ 業種別にみると、運輸業がプラスに転換、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業は横ばい、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大

・ 地域別にみると、道南、オホーツク、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道央は横ばい、道北、十勝はマイナス幅が拡大

来期の業況感ＢＳＩは △13（今期から５ポイント下降）

図1－(1) 業況感

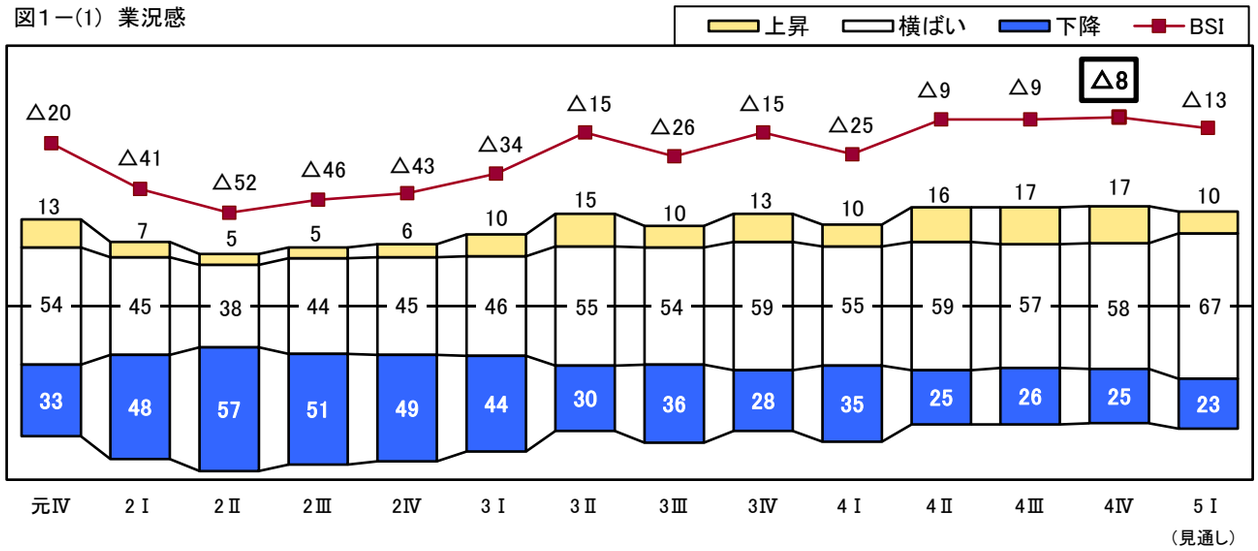


表1-(1) 業況感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 9	17	58	25	△ 8	1	10	67	23	△ 13	△ 5
	札幌市を除く	△ 13	16	57	27	△ 11	2	10	64	26	△ 16	△ 5
	札幌市	4	20	63	17	3	△ 1	11	74	15	△ 4	△ 7
業種	建設業	△ 20	3	68	29	△ 26	△ 6	3	71	26	△ 23	3
	製造業	△ 27	15	58	27	△ 12	15	7	65	28	△ 21	△ 9
	卸売・小売業	△ 7	22	49	29	△ 7	0	13	54	33	△ 20	△ 13
	運輸業	△ 7	22	59	19	3	10	16	72	12	4	1
	サービス業	6	21	57	22	△ 1	△ 7	11	70	19	△ 8	△ 7
資本金	5千万円未満	△ 14	16	57	27	△ 11	3	9	65	26	△ 17	△ 6
	5千万円以上～1億円未満	△ 1	19	56	25	△ 6	△ 5	9	68	23	△ 14	△ 8
	1億円以上	2	21	61	18	3	1	18	69	13	5	2
地域	道南	△ 15	18	50	32	△ 14	1	8	62	30	△ 22	△ 8
	道央	1	19	63	18	1	0	13	70	17	△ 4	△ 5
	札幌市を除く	△ 3	18	62	20	△ 2	1	15	66	19	△ 4	△ 2
	札幌市	4	20	63	17	3	△ 1	11	74	15	△ 4	△ 7
	道北	△ 7	18	50	32	△ 14	△ 7	9	64	27	△ 18	△ 4
	オホーツク	△ 12	18	58	24	△ 6	6	12	61	27	△ 15	△ 9
	十勝	△ 24	11	53	36	△ 25	△ 1	9	60	31	△ 22	3
	釧路・根室	△ 32	11	64	25	△ 14	18	4	69	27	△ 23	△ 9

（２）売上（生産）高

今期の売上(生産)高ＢＳＩは　０（前期から６ポイント上昇）

・ 業種別でみると、製造業、運輸業はプラスに転換、卸売・小売業はプラス幅が拡大、サービス業はマイナスに転換、建設業はマイナス幅が拡大

・ 地域別でみると、道央はプラス幅が拡大、オホーツクはプラスマイナスゼロに転換、道北、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道南はマイナス幅が拡大

来期の売上(生産)高はＢＳＩは　△４（今期から４ポイント下降）

図1－(2) 売上(生産)高

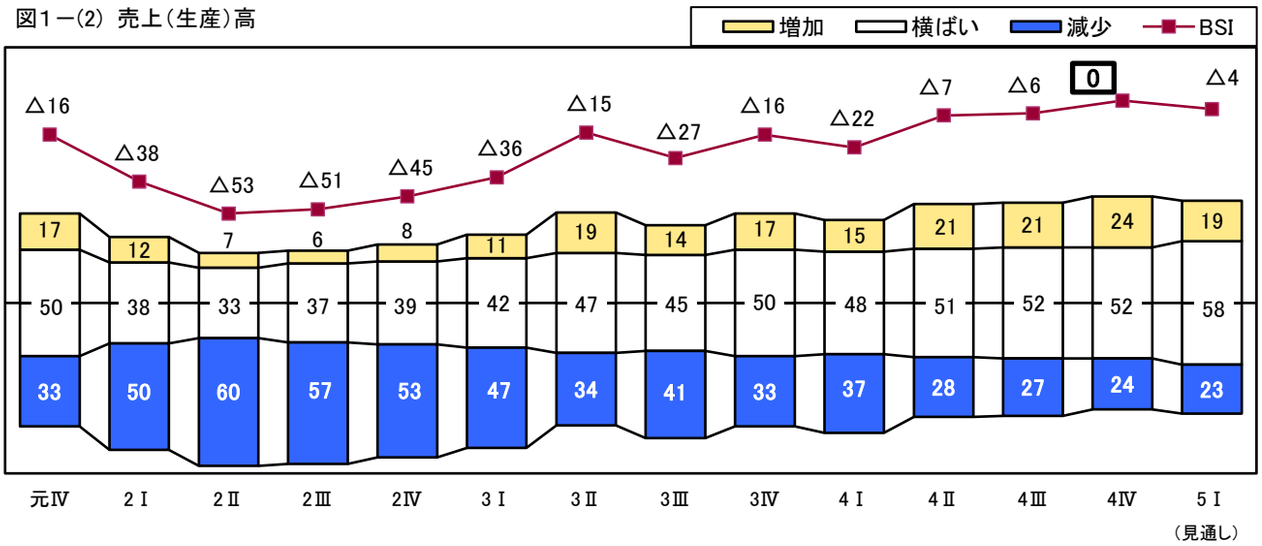


表1-(2) 売上(生産)高(業種･資本金･地域別)

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 6	24	52	24	0	6	19	58	23	△ 4	△ 4
	札幌市を除く	△ 10	22	51	27	△ 5	5	16	58	26	△ 10	△ 5
	札幌市	12	30	56	14	16	4	26	61	13	13	△ 3
業種	建設業	△ 21	9	56	35	△ 26	△ 5	5	60	35	△ 30	△ 4
	製造業	△ 17	27	48	25	2	19	18	58	24	△ 6	△ 8
	卸売・小売業	3	36	37	27	9	6	26	46	28	△ 2	△ 11
	運輸業	△ 4	27	59	14	13	17	23	65	12	11	△ 2
	サービス業	6	22	56	22	0	△ 6	19	63	18	1	1
資本金	5千万円未満	△ 12	20	53	27	△ 7	5	16	58	26	△ 10	△ 3
	5千万円以上～1億円未満	4	28	49	23	5	1	18	61	21	△ 3	△ 8
	1億円以上	11	36	49	15	21	10	30	58	12	18	△ 3
地域	道南	△ 10	26	37	37	△ 11	△ 1	21	49	30	△ 9	2
	道央	4	27	57	16	11	7	22	63	15	7	△ 4
	札幌市を除く	△ 6	23	59	18	5	11	18	65	17	1	△ 4
	札幌市	12	30	56	14	16	4	26	61	13	13	△ 3
	道北	△ 8	25	44	31	△ 6	2	13	61	26	△ 13	△ 7
	オホーツク	△ 7	24	52	24	0	7	20	49	31	△ 11	△ 11
	十勝	△ 18	20	50	30	△ 10	8	17	52	31	△ 14	△ 4
	釧路・根室	△ 21	15	56	29	△ 14	7	7	64	29	△ 22	△ 8

（３）経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △16（前期から５ポイント上昇 ）

・ 業種別でみると、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大

・ 地域別でみると、道北はマイナス幅が拡大、その他の地域はマイナス幅が縮小

来期の経常利益ＢＳＩは △20（今期から４ポイント下降）

図１－(3) 経常利益

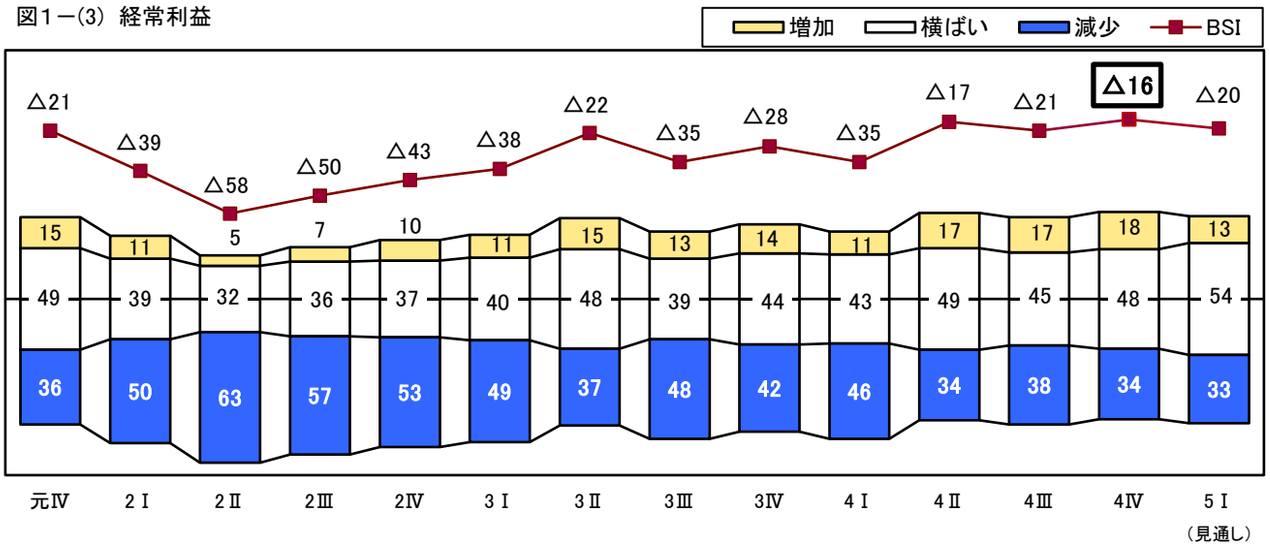


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 21	18	48	34	△ 16	5	13	54	33	△ 20	△ 4
	札幌市を除く	△ 26	16	49	35	△ 19	7	12	53	35	△ 23	△ 4
	札幌市	△ 2	25	46	29	△ 4	△ 2	16	58	26	△ 10	△ 6
業種	建設業	△ 39	5	49	46	△ 41	△ 2	4	49	47	△ 43	△ 2
	製造業	△ 36	18	44	38	△ 20	16	11	52	37	△ 26	△ 6
	卸売・小売業	△ 15	23	45	32	△ 9	6	15	49	36	△ 21	△ 12
	運輸業	△ 26	21	55	24	△ 3	23	19	60	21	△ 2	1
	サービス業	△ 1	20	50	30	△ 10	△ 9	15	58	27	△ 12	△ 2
資本金	5千万円未満	△ 27	15	50	35	△ 20	7	11	54	35	△ 24	△ 4
	5千万円以上～1億円未満	△ 16	22	44	34	△ 12	4	12	53	35	△ 23	△ 11
	1億円以上	0	27	43	30	△ 3	△ 3	21	55	24	△ 3	0
地域	道南	△ 23	19	40	41	△ 22	1	18	42	40	△ 22	0
	道央	△ 12	20	52	28	△ 8	4	16	61	23	△ 7	1
	札幌市を除く	△ 23	15	58	27	△ 12	11	15	64	21	△ 6	6
	札幌市	△ 2	25	46	29	△ 4	△ 2	16	58	26	△ 10	△ 6
	道北	△ 18	18	44	38	△ 20	△ 2	9	54	37	△ 28	△ 8
	オホーツク	△ 29	15	50	35	△ 20	9	14	43	43	△ 29	△ 9
	十勝	△ 34	14	45	41	△ 27	7	11	42	47	△ 36	△ 9
	釧路・根室	△ 37	13	51	36	△ 23	14	2	60	38	△ 36	△ 13

（４）資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △５（前期から４ポイント上昇）

・ 業種別にみると、運輸業はプラスに転換、卸売・小売業は横ばい、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小、建設業はマイナス幅が拡大

・ 地域別にみると、道南、道央、道北、釧路・根室はマイナス幅が縮小、十勝は横ばい、オホーツクはマイナス幅が拡大

来期の資金繰りＢＳＩは △７（今期から２ポイント下降）

図1－(4) 資金繰り

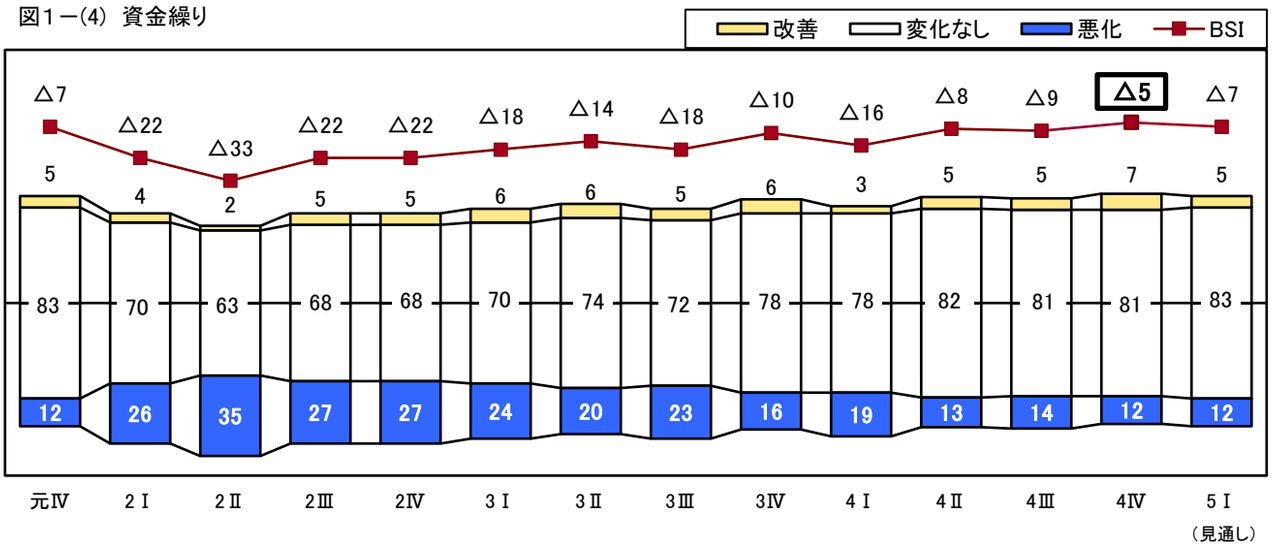


表1-(4) 資金繰り(業種･資本金･地域別)

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総計		△ 9	7	81	12	△ 5	4	5	83	12	△ 7	△ 2
	札幌市を除く	△ 8	6	81	13	△ 7	1	4	82	14	△ 10	△ 3
	札幌市	△ 10	9	81	10	△ 1	9	8	84	8	0	1
業種	建設業	△ 2	4	87	9	△ 5	△ 3	0	91	9	△ 9	△ 4
	製造業	△ 17	3	84	13	△ 10	7	2	82	16	△ 14	△ 4
	卸売・小売業	△ 8	10	72	18	△ 8	0	7	76	17	△ 10	△ 2
	運輸業	△ 10	9	83	8	1	11	9	84	7	2	1
	サービス業	△ 7	6	83	11	△ 5	2	6	81	13	△ 7	△ 2
資本金	5千万円未満	△ 13	6	80	14	△ 8	5	4	81	15	△ 11	△ 3
	5千万円以上～1億円未満	△ 4	9	80	11	△ 2	2	7	81	12	△ 5	△ 3
	1億円以上	1	7	90	3	4	3	6	93	1	5	1
地域	道南	△ 11	7	77	16	△ 9	2	5	76	19	△ 14	△ 5
	道央	△ 11	8	81	11	△ 3	8	7	83	10	△ 3	0
	札幌市を除く	△ 11	7	80	13	△ 6	5	6	81	13	△ 7	△ 1
	札幌市	△ 10	9	81	10	△ 1	9	8	84	8	0	1
	道北	△ 4	9	80	11	△ 2	2	5	79	16	△ 11	△ 9
	オホーツク	0	2	88	10	△ 8	△ 8	2	88	10	△ 8	0
	十勝	△ 4	5	86	9	△ 4	0	4	87	9	△ 5	△ 1
	釧路・根室	△ 21	2	83	15	△ 13	8	0	89	11	△ 11	2

２　雇用状況

（１）雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △11（前期から１ポイント下降）

・ 業種別にみると、卸売・小売業、サービス業はマイナス幅が縮小、建設業、製造業、運輸業はマイナス幅が拡大

・ 地域別にみると、オホーツクはマイナスに転換、道南、道央、道北はマイナス幅が縮小、十勝、釧路・根室はマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは ０（今期から11ポイント上昇）

図２－(1) 雇用者総数

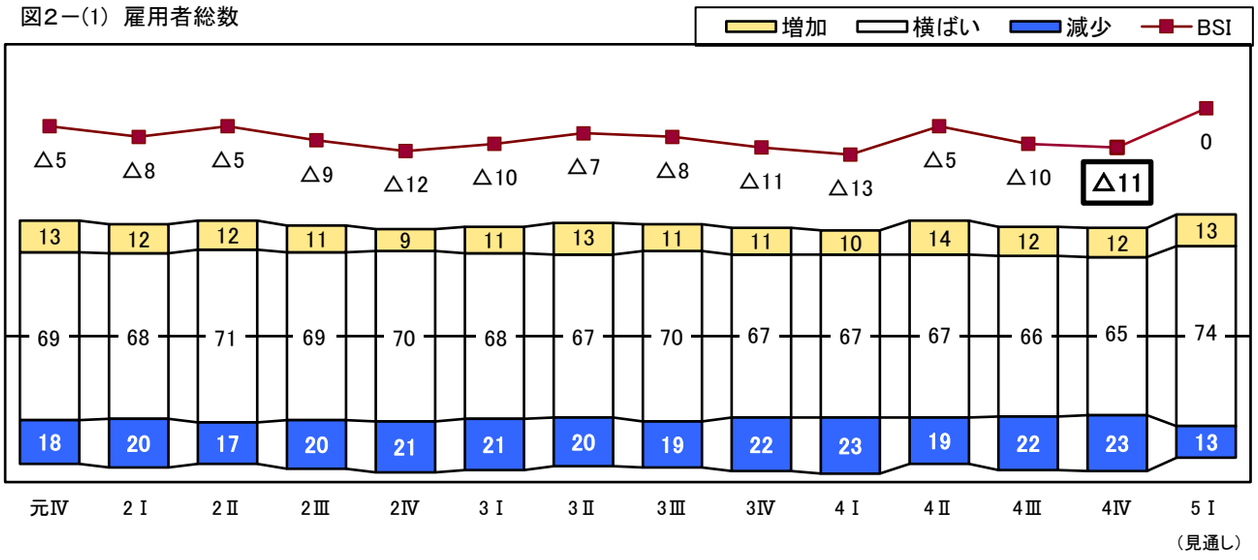


表2-(1) 雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 10	12	65	23	△ 11	△ 1	13	74	13	0	11
	札幌市を除く	△ 9	11	64	25	△ 14	△ 5	13	73	14	△ 1	13
	札幌市	△ 14	15	67	18	△ 3	11	15	76	9	6	9
業種	建設業	△ 5	15	64	21	△ 6	△ 1	14	75	11	3	9
	製造業	△ 12	10	62	28	△ 18	△ 6	12	74	14	△ 2	16
	卸売・小売業	△ 7	9	77	14	△ 5	2	14	74	12	2	7
	運輸業	△ 17	7	58	35	△ 28	△ 11	9	70	21	△ 12	16
	サービス業	△ 10	17	62	21	△ 4	6	16	74	10	6	10
資本金	5千万円未満	△ 12	12	65	23	△ 11	1	12	74	14	△ 2	9
	5千万円以上～1億円未満	△ 4	12	59	29	△ 17	△ 13	15	73	12	3	20
	1億円以上	△ 12	15	70	15	0	12	16	75	9	7	7
地域	道南	△ 16	6	73	21	△ 15	1	8	77	15	△ 7	8
	道央	△ 9	13	66	21	△ 8	1	13	77	10	3	11
	札幌市を除く	△ 6	11	65	24	△ 13	△ 7	10	80	10	0	13
	札幌市	△ 14	15	67	18	△ 3	11	15	76	9	6	9
	道北	△ 13	18	55	27	△ 9	4	22	64	14	8	17
	オホーツク	4	16	64	20	△ 4	△ 8	14	70	16	△ 2	2
	十勝	△ 4	9	68	23	△ 14	△ 10	7	75	18	△ 11	3
	釧路・根室	△ 21	7	62	31	△ 24	△ 3	15	69	16	△ 1	23

（２）雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 46（前期から３ポイント上昇）

- 業種別にみると、すべての業種でプラス幅が拡大
- 地域別にみると、道北、オホーツク、十勝はプラス幅が縮小、道南、道央、釧路・根室でプラス幅が拡大

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 44（今期から２ポイント下降）

図2－(2) 雇用者の不足感

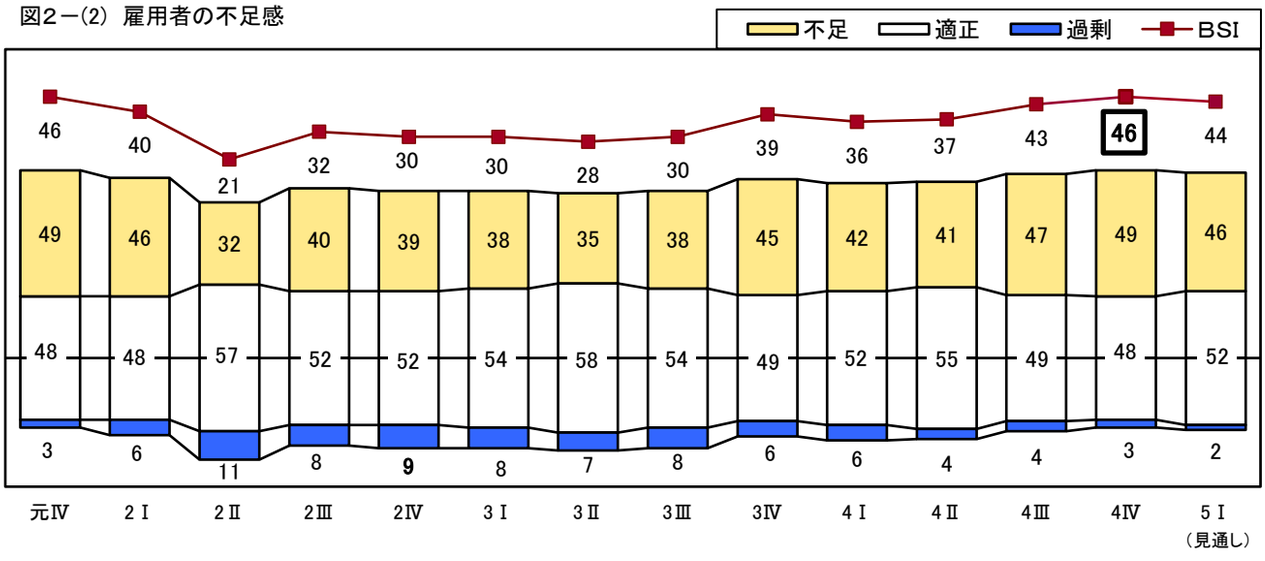


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計		43	49	48	3	46	3	46	52	2	44	△ 2
	札幌市を除く	45	51	46	3	48	3	48	50	2	46	△ 2
	札幌市	34	43	52	5	38	4	39	58	3	36	△ 2
業種	建設業	58	60	40	0	60	2	60	40	0	60	0
	製造業	39	45	51	4	41	2	41	55	4	37	△ 4
	卸売・小売業	30	41	53	6	35	5	38	57	5	33	△ 2
	運輸業	49	59	40	1	58	9	52	48	0	52	△ 6
	サービス業	40	45	52	3	42	2	42	56	2	40	△ 2
資本金	5千万円未満	40	47	50	3	44	4	44	54	2	42	△ 2
	5千万円以上～1億円未満	51	59	37	4	55	4	58	39	3	55	0
	1億円以上	42	47	52	1	46	4	39	60	1	38	△ 8
地域	道南	30	50	44	6	44	14	46	50	4	42	△ 2
	道央	36	46	50	4	42	6	42	55	3	39	△ 3
	札幌市を除く	38	50	47	3	47	9	46	51	3	43	△ 4
	札幌市	34	43	52	5	38	4	39	58	3	36	△ 2
	道北	58	55	44	1	54	△ 4	49	50	1	48	△ 6
	オホーツク	45	46	52	2	44	△ 1	47	51	2	45	1
	十勝	60	52	48	0	52	△ 8	51	49	0	51	△ 1
	釧路・根室	44	51	47	2	49	5	47	51	2	45	△ 4

（３）残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは△８（前期から７ポイント上昇）

・ 業種別にみると、サービス業はマイナス幅が拡大、その他の業種はマイナス幅が縮小

・ 地域別にみると、釧路・根室はマイナス幅が拡大、十勝は横ばい、道南、道央、道北、オホーツクはマイナス幅が縮小

来期の残業時間ＢＳＩは△８（今期から横ばい）

図2－(3) 残業時間

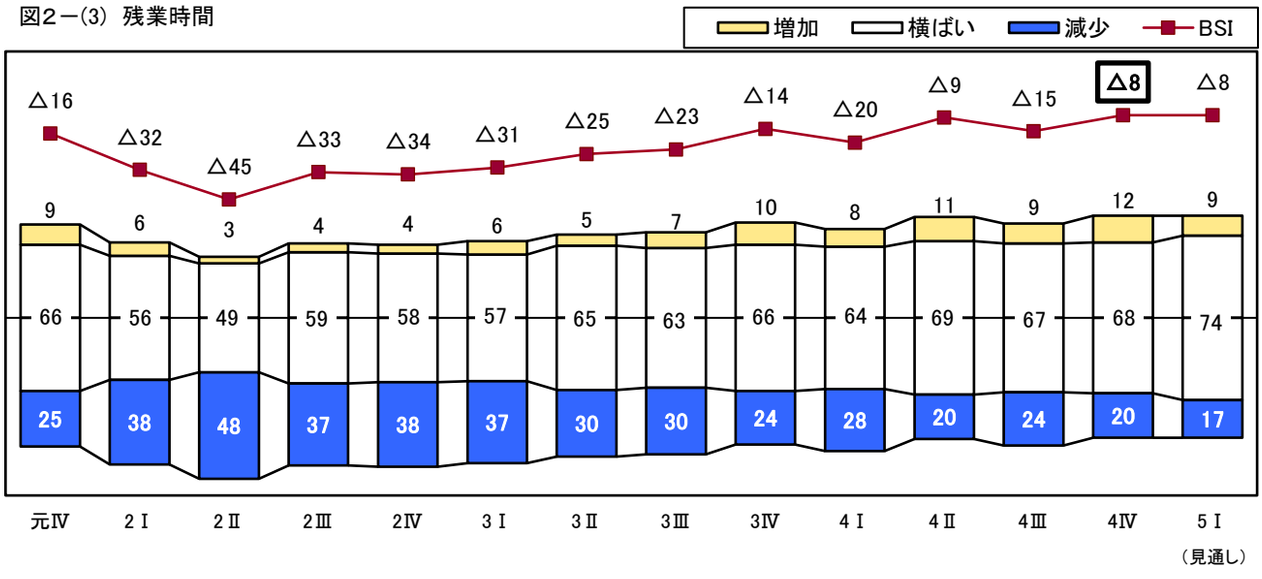


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 15	12	68	20	△ 8	7	9	74	17	△ 8	0
	札幌市を除く	△ 15	12	66	22	△ 10	5	8	74	18	△ 10	0
	札幌市	△ 12	10	76	14	△ 4	8	11	75	14	△ 3	1
業種	建設業	△ 28	5	71	24	△ 19	9	7	71	22	△ 15	4
	製造業	△ 20	18	58	24	△ 6	14	11	67	22	△ 11	△ 5
	卸売・小売業	△ 9	9	76	15	△ 6	3	5	79	16	△ 11	△ 5
	運輸業	△ 13	12	70	18	△ 6	7	11	73	16	△ 5	1
	サービス業	△ 6	13	67	20	△ 7	△ 1	11	76	13	△ 2	5
資本金	5千万円未満	△ 20	8	68	24	△ 16	4	7	75	18	△ 11	5
	5千万円以上～1億円未満	△ 4	16	73	11	5	9	12	73	15	△ 3	△ 8
	1億円以上	△ 2	21	68	11	10	12	15	70	15	0	△ 10
地域	道南	△ 13	13	70	17	△ 4	9	11	74	15	△ 4	0
	道央	△ 11	13	71	16	△ 3	8	10	76	14	△ 4	△ 1
	札幌市を除く	△ 11	17	65	18	△ 1	10	8	79	13	△ 5	△ 4
	札幌市	△ 12	10	76	14	△ 4	8	11	75	14	△ 3	1
	道北	△ 14	16	58	26	△ 10	4	10	68	22	△ 12	△ 2
	オホーツク	△ 22	7	76	17	△ 10	12	11	72	17	△ 6	4
	十勝	△ 12	9	70	21	△ 12	0	5	77	18	△ 13	△ 1
	釧路・根室	△ 23	5	62	33	△ 28	△ 5	4	69	27	△ 23	5

（４） １人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは41（前期から横ばい）

・ 業種別にみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業はプラス幅が拡大、建設業、製造業は横ばい

・ 地域別にみると、道南、道北はプラス幅が拡大、道央、オホーツク、十勝が横ばい、釧路・根室はプラス幅が縮小

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは36（今期から５ポイント下降）

図2－(4) １人当たり賃金

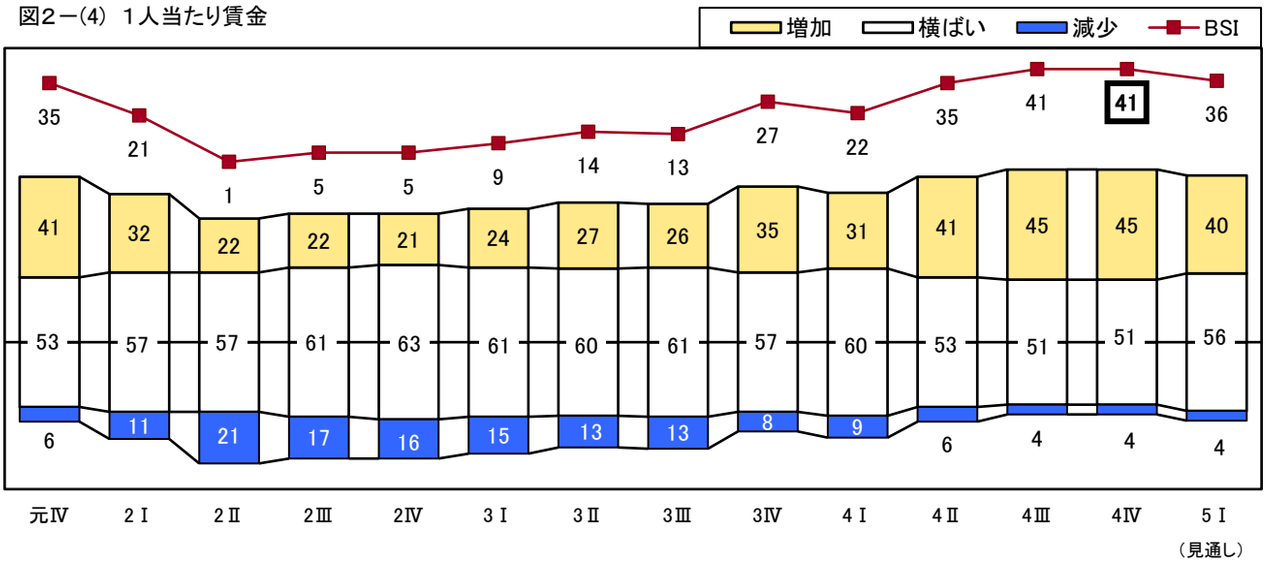


表2-(4) １人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		41	45	51	4	41	0	40	56	4	36	△ 5
	札幌市を除く	40	44	52	4	40	0	40	56	4	36	△ 4
	札幌市	42	48	49	3	45	3	43	53	4	39	△ 6
業種	建設業	62	62	38	0	62	0	53	47	0	53	△ 9
	製造業	46	51	44	5	46	0	43	53	4	39	△ 7
	卸売・小売業	41	43	56	1	42	1	44	55	1	43	1
	運輸業	25	36	57	7	29	4	34	57	9	25	△ 4
	サービス業	32	39	55	6	33	1	33	61	6	27	△ 6
資本金	5千万円未満	34	42	53	5	37	3	37	58	5	32	△ 5
	5千万円以上～1億円未満	53	56	41	3	53	0	54	43	3	51	△ 2
	1億円以上	50	44	54	2	42	△ 8	40	59	1	39	△ 3
地域	道南	35	43	54	3	40	5	44	52	4	40	0
	道央	38	42	54	4	38	0	39	57	4	35	△ 3
	札幌市を除く	33	35	59	6	29	△ 4	36	61	3	33	4
	札幌市	42	48	49	3	45	3	43	53	4	39	△ 6
	道北	39	50	47	3	47	8	39	58	3	36	△ 11
	オホーツク	46	48	50	2	46	0	44	52	4	40	△ 6
	十勝	50	55	40	5	50	0	40	53	7	33	△ 17
	釧路・根室	45	44	51	5	39	△ 6	40	56	4	36	△ 3

３　在庫、価格水準

（１）製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「過大」が縮小

・仕入価格は、前期と比べ、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

・製品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小

・仕入価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小

・製品価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小

図３－(1)　製品在庫水準

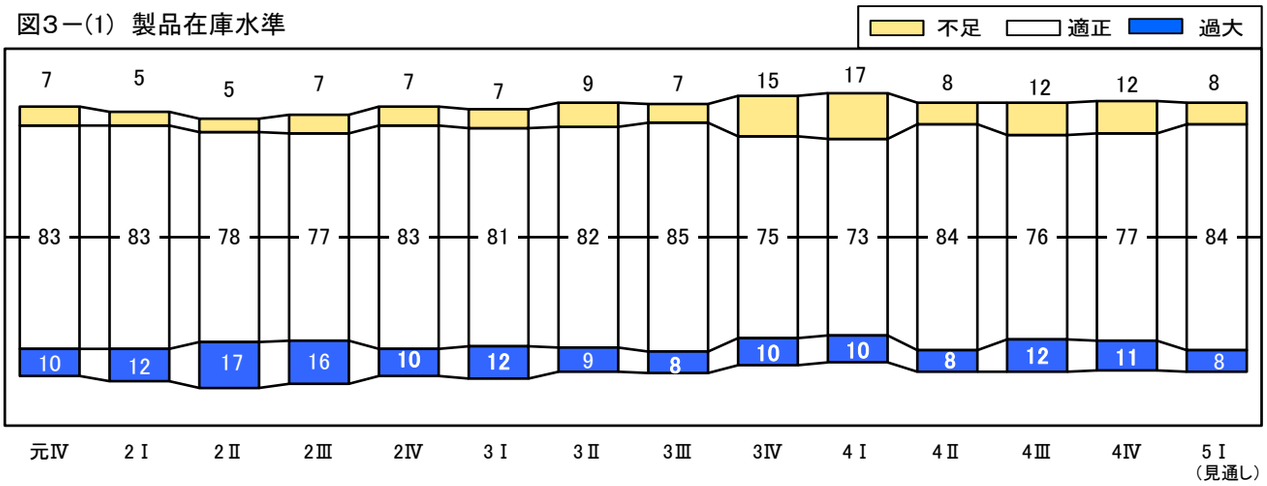


図３－(2)　仕入価格（原材料）

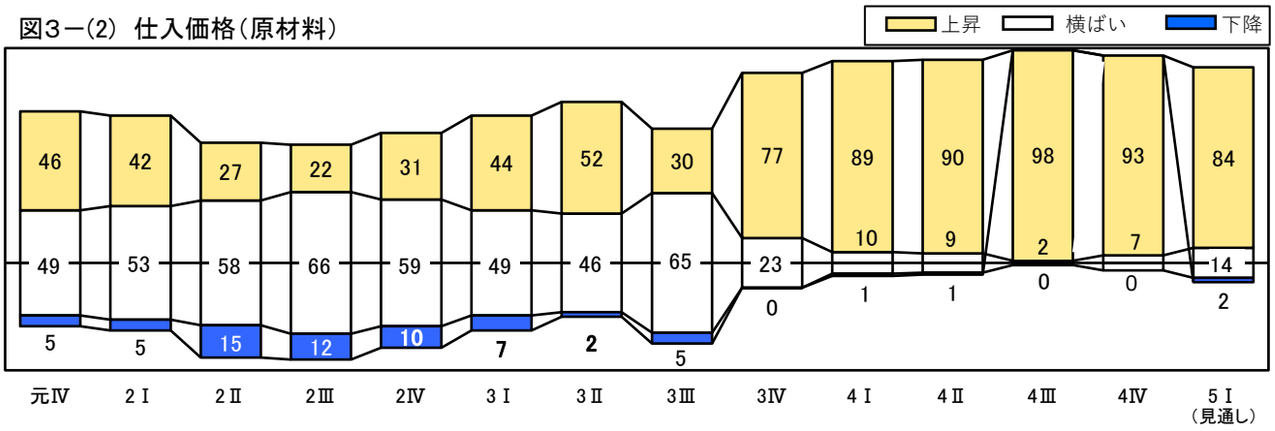
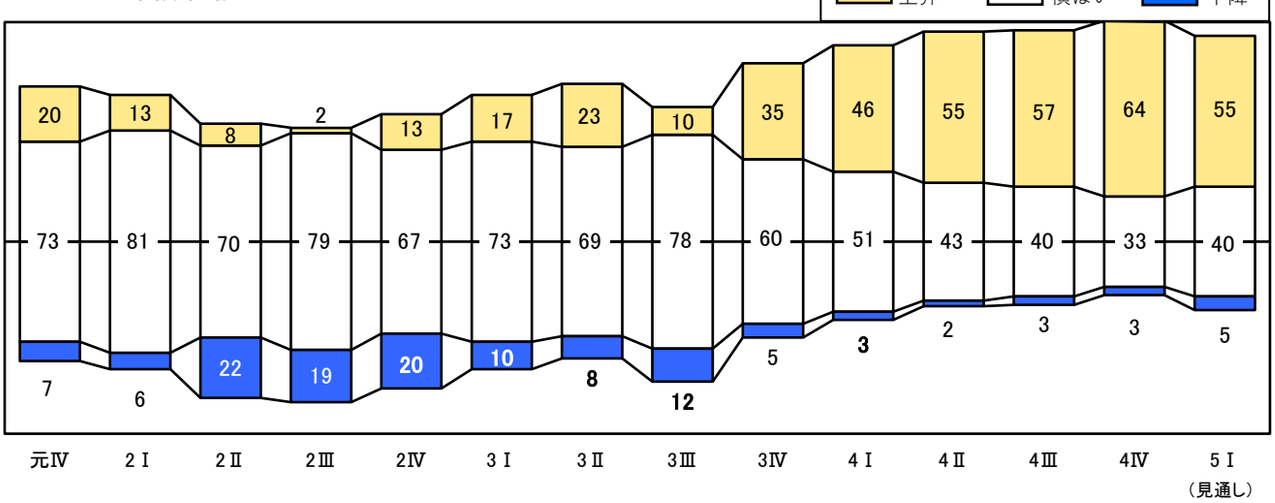


図３－(3)　製品価格



（２）卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「過大」が拡大、「不足」、「適正」が縮小

・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小

・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

・商品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小

図３－(4) 商品在庫水準

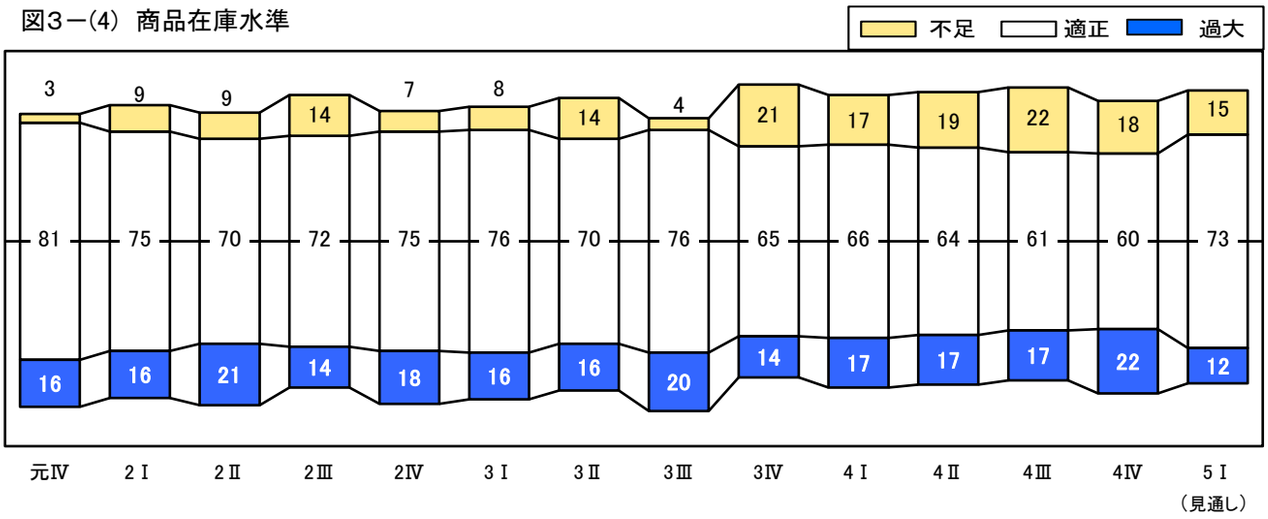


図３－(5) 仕入価格（商品）

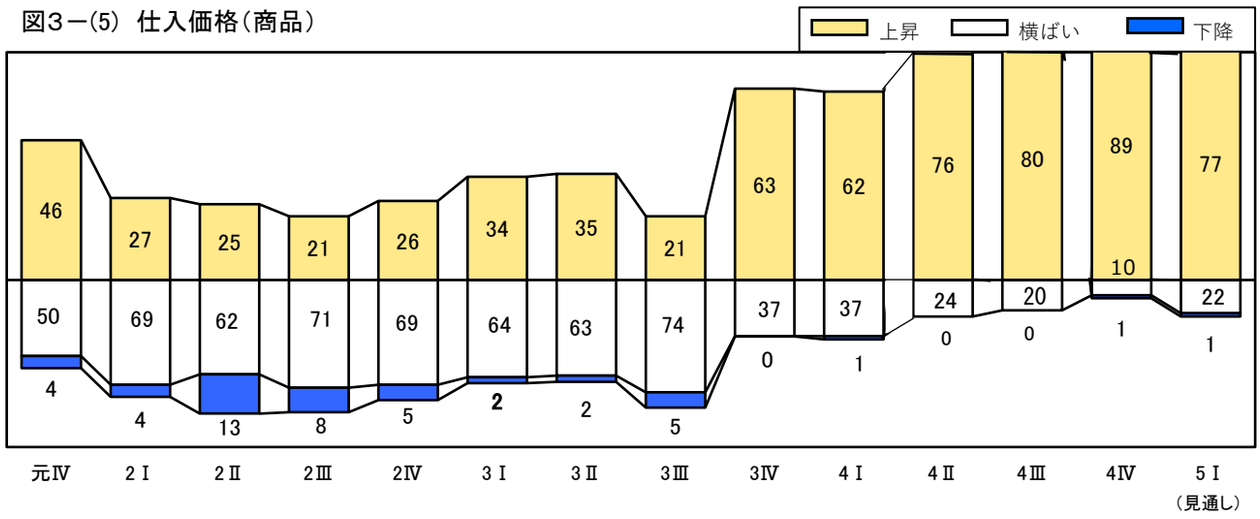
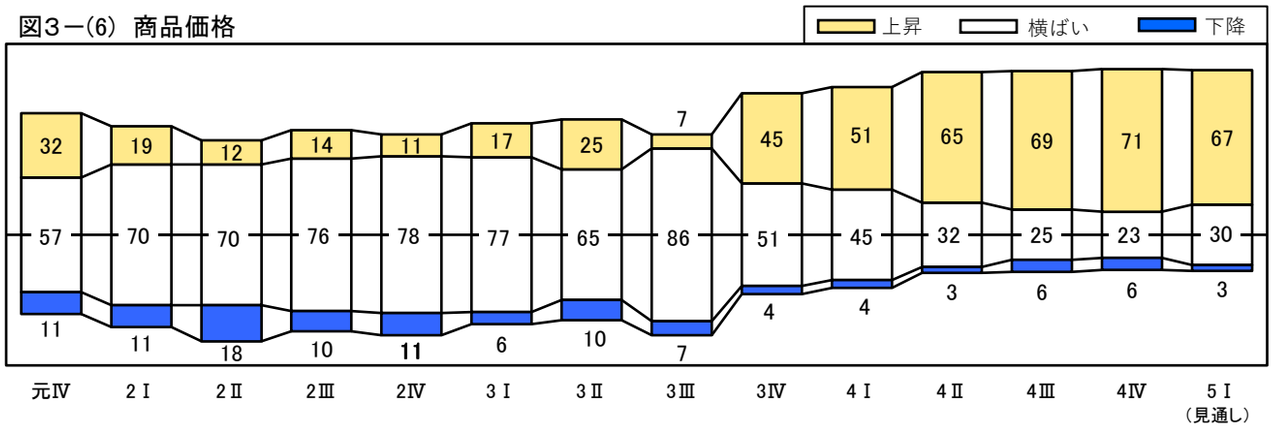


図３－(6) 商品価格



４　設備投資の状況

今期の実績

- 「設備投資をした」と回答した企業は34%で、前期から上昇
- 設備投資の目的については、「設備更新」が80%、「生産・販売能力拡大」が24%「合理化・省力化」が22%（複数回答）

来期の見通し

- 「設備投資をする」と回答した企業は32%で、今期から２%縮小
- 設備投資の目的については、「設備更新」が81%、「合理化・省力化」が26%、「生産・販売能力拡大」が24%（複数回答）

図４－(1)　設備投資の状況

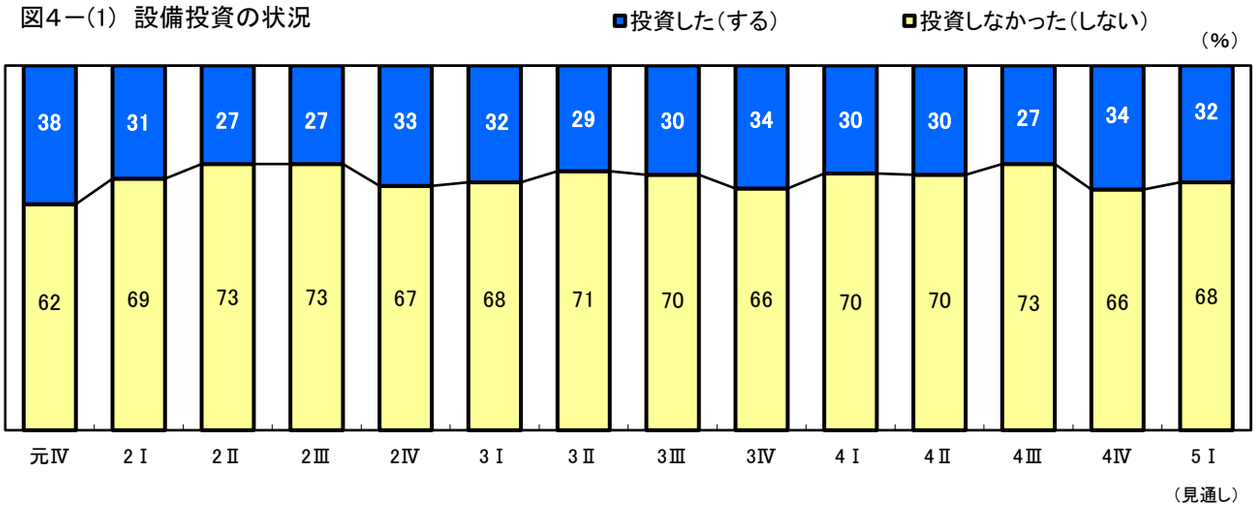


図４－(2)　設備投資の目的(複数回答)

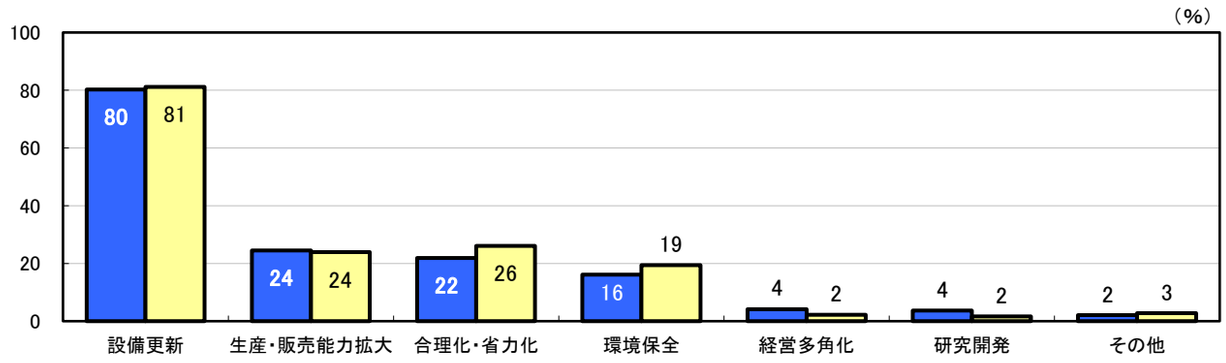


表4-(1) 設備投資の状況（R4年10-12月実績）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R4年7-9月 設備投資した	R4年10-12月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
				設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		27	34	80	24	22	16	4	4	2
	札幌市を除く	25	32	82	23	20	16	2	4	1
	札幌市	31	40	75	27	27	18	10	2	6
業種	建設業	29	28	88	23	19	8	0	8	0
	製造業	34	45	83	24	35	26	4	2	0
	卸売・小売業	23	32	83	23	17	26	6	3	0
	運輸業	31	40	78	19	8	8	0	0	0
	サービス業	23	28	73	31	24	10	8	6	8
資本金	5千万円未満	21	28	79	29	22	13	7	3	0
	5千万円以上～1億円未満	27	33	81	22	14	14	0	3	6
	1億円以上	55	58	83	17	27	25	2	6	4
地域	道南	18	23	82	18	6	35	6	6	0
	道央	29	35	78	26	27	15	6	3	5
	札幌市を除く	27	31	84	24	27	11	0	5	3
	札幌市	31	40	75	27	27	18	10	2	6
	道北	28	40	89	34	11	6	3	3	0
	オホーツク	29	23	73	18	9	9	9	0	0
	十勝	33	38	71	29	38	29	0	5	0
	釧路・根室	23	36	85	5	20	15	0	5	0

表4-(1) 設備投資の状況（R5年1-3月見通し）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R5年1-3月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答）						
			設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		32	81	26	24	19	2	2	3
	札幌市を除く	29	83	21	22	20	2	2	2
	札幌市	41	75	38	28	19	4	2	4
業種	建設業	25	78	22	9	22	0	0	4
	製造業	36	78	54	35	22	0	3	0
	卸売・小売業	28	94	19	26	26	3	0	0
	運輸業	44	90	5	15	8	5	0	0
	サービス業	29	69	29	29	22	2	4	8
資本金	5千万円未満	24	78	29	31	18	3	1	2
	5千万円以上～1億円未満	36	84	13	13	18	0	0	3
	1億円以上	58	85	31	19	23	2	4	4
地域	道南	19	79	7	21	36	0	0	0
	道央	38	81	30	26	20	3	2	3
	札幌市を除く	34	88	20	22	22	2	2	2
	札幌市	41	75	38	28	19	4	2	4
	道北	28	88	24	28	8	0	0	4
	オホーツク	25	67	25	17	8	0	0	0
	十勝	35	79	32	32	26	5	5	0
	釧路・根室	30	88	19	6	19	0	0	6

５　地域別にみる各産業の動向

（１）道南

今期の業況感ＢＳＩは △14（前期から１ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△67→△25）
飲食料品小売業（0→34）、機械器具小売業（△75→△25）
道路旅客運送業（0→75）、道路貨物運送業（△25→33）
宿泊業（0→75）

主な下降業種・・・　総合工事業（△9→△33）、食料品製造業（0→△33）
技術サービス業（0→△33）、自動車整備業（△33→△50）

来期の業況感ＢＳＩは △22（今期から８ポイント下降）

図５－(1) 地域別BSIの推移【道南】

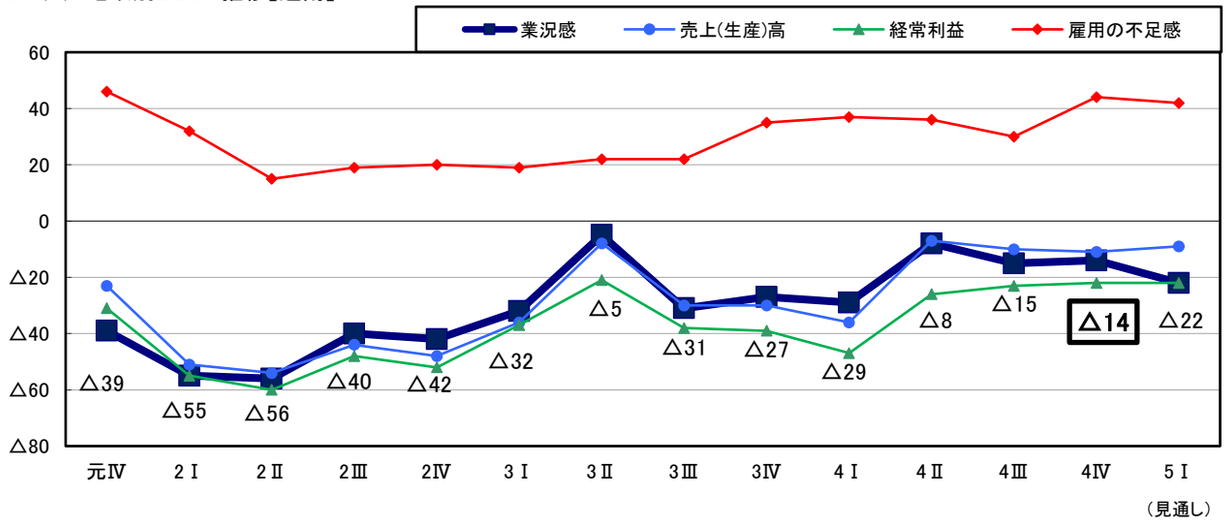


表５－(1) 地域別BSI【道南】

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 15	18	50	32	△ 14	1	8	62	30	△ 22	△ 8
	建設業	△ 9	0	67	33	△ 33	△ 24	0	58	42	△ 42	△ 9
	製造業	△ 8	0	50	50	△ 50	△ 42	0	58	42	△ 42	8
	卸売・小売業	△ 43	24	41	35	△ 11	32	6	53	41	△ 35	△ 24
	運輸業	△ 12	45	46	9	36	48	36	64	0	36	0
	サービス業	0	19	52	29	△ 10	△ 10	5	71	24	△ 19	△ 9
売上（生産）高	全産業	△ 10	26	37	37	△ 11	△ 1	21	49	30	△ 9	2
	建設業	9	0	50	50	△ 50	△ 59	0	58	42	△ 42	8
	製造業	△ 8	25	25	50	△ 25	△ 17	17	41	42	△ 25	0
	卸売・小売業	△ 36	35	18	47	△ 12	24	29	30	41	△ 12	0
	運輸業	0	45	46	9	36	36	45	46	9	36	0
	サービス業	△ 6	24	47	29	△ 5	1	14	67	19	△ 5	0
経常利益	全産業	△ 23	19	40	41	△ 22	1	18	42	40	△ 22	0
	建設業	△ 9	0	50	50	△ 50	△ 41	0	50	50	△ 50	0
	製造業	△ 41	8	25	67	△ 59	△ 18	8	25	67	△ 59	0
	卸売・小売業	△ 36	24	35	41	△ 17	19	24	35	41	△ 17	0
	運輸業	△ 12	45	37	18	27	39	45	37	18	27	0
	サービス業	△ 12	19	48	33	△ 14	△ 2	14	57	29	△ 15	△ 1
雇用者の不足感	全産業	30	50	44	6	44	14	46	50	4	42	△ 2
	建設業	45	73	27	0	73	28	82	18	0	82	9
	製造業	33	42	50	8	34	1	33	59	8	25	△ 9
	卸売・小売業	29	53	35	12	41	12	53	41	6	47	6
	運輸業	38	64	36	0	64	26	55	45	0	55	△ 9
	サービス業	12	33	62	5	28	16	25	70	5	20	△ 8

（２）道央

今期の業況感ＢＳＩは １（前期から横ばい）

主な上昇業種・・・　食料品製造業（△12→△11）、倉庫業（△11→18）、
洗濯・理容・美容・浴場業（0→22）、自動車整備業（△14→10）

主な下降業種・・・　総合工事業（△20→△31）、道路貨物運送業（△22→△23）
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→△25）
情報サービス業（△11→△31）、物品賃借業（20→0）
技術サービス業(△9→△20）、宿泊業（75→67）

来期の業況感ＢＳＩは △４（今期から５ポイント下降）

図5－(2) 地域別BSIの推移【道央】

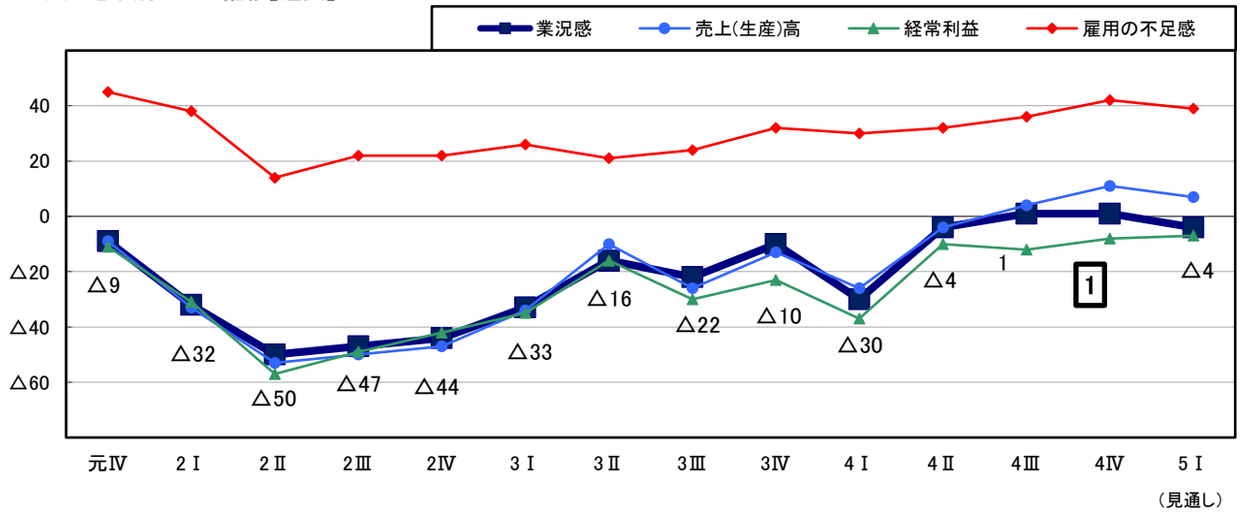


表5－(2) 地域別BSI【道央】

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	1	19	63	18	1	0	13	70	17	△ 4	△ 5
	建設業	△ 12	3	70	27	△ 24	△ 12	3	79	18	△ 15	9
	製造業	△ 19	13	67	20	△ 7	12	10	67	23	△ 13	△ 6
	卸売・小売業	12	24	60	16	8	△ 4	20	60	20	0	△ 8
	運輸業	4	19	62	19	0	△ 4	16	71	13	3	3
	サービス業	9	26	58	16	10	1	13	73	14	△ 1	△ 11
売上（生産）高	全産業	4	27	57	16	11	7	22	63	15	7	△ 4
	建設業	△ 18	12	64	24	△ 12	6	6	73	21	△ 15	△ 3
	製造業	△ 16	25	55	20	5	21	23	64	13	10	5
	卸売・小売業	23	41	43	16	25	2	29	53	18	11	△ 14
	運輸業	0	19	71	10	9	9	23	64	13	10	1
	サービス業	11	27	59	14	13	2	24	63	13	11	△ 2
経常利益	全産業	△ 12	20	52	28	△ 8	4	16	61	23	△ 7	1
	建設業	△ 24	9	58	33	△ 24	0	6	61	33	△ 27	△ 3
	製造業	△ 31	18	47	35	△ 17	14	15	62	23	△ 8	9
	卸売・小売業	△ 5	25	50	25	0	5	18	60	22	△ 4	△ 4
	運輸業	△ 22	16	61	23	△ 7	15	19	68	13	6	13
	サービス業	0	23	51	26	△ 3	△ 3	17	59	24	△ 7	△ 4
雇用者の不足感	全産業	36	46	50	4	42	6	42	55	3	39	△ 3
	建設業	58	52	48	0	52	△ 6	52	48	0	52	0
	製造業	22	38	57	5	33	11	30	65	5	25	△ 8
	卸売・小売業	21	37	57	6	31	10	33	63	4	29	△ 2
	運輸業	41	52	45	3	49	8	39	61	0	39	△ 10
	サービス業	40	51	44	5	46	6	50	47	3	47	1

（２）－①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ ２（前期から１ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　食料品製造業（△25→△20）、化学工業（△100→△25）
道路貨物運送業（△17→△13）、技術サービス業（△50→△33）
宿泊業（67→70）、洗濯・理容・美容・浴場業（△50→0）
自動車整備業（△17→13）

主な下降業種・・・　総合工事業（△18→△30）、金属製品製造業（33→25）
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△33→△40）
物品賃貸業（0→△20）

来期の業況感ＢＳＩは △４（今期から２ポイント下降）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

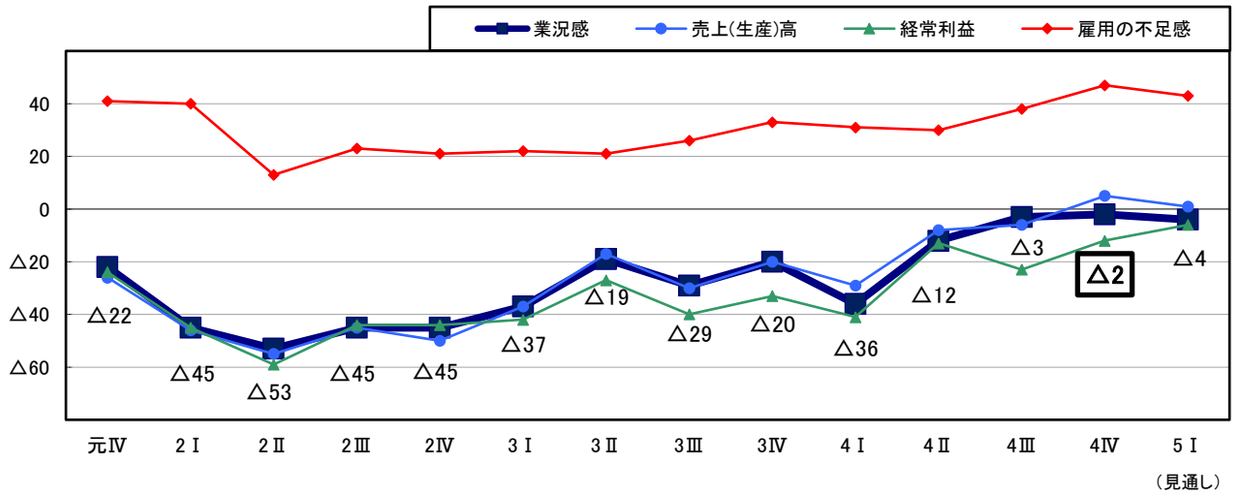


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 3	18	62	20	△ 2	1	15	66	19	△ 4	△ 2
	建設業	△ 13	0	69	31	△ 31	△ 18	8	69	23	△ 15	16
	製造業	△ 12	12	68	20	△ 8	4	8	56	36	△ 28	△ 20
	卸売・小売業	11	29	42	29	0	△ 11	33	48	19	14	14
	運輸業	0	6	83	11	△ 5	△ 5	11	78	11	0	5
	サービス業	0	28	56	16	12	12	14	74	12	2	△ 10
売上（生産）高	全産業	△ 6	23	59	18	5	11	18	65	17	1	△ 4
	建設業	△ 27	8	54	38	△ 30	△ 3	8	69	23	△ 15	15
	製造業	△ 12	16	64	20	△ 4	8	16	64	20	△ 4	0
	卸売・小売業	23	43	33	24	19	△ 4	38	38	24	14	△ 5
	運輸業	△ 13	6	88	6	0	13	11	78	11	0	0
	サービス業	△ 2	28	58	14	14	16	16	72	12	4	△ 10
経常利益	全産業	△ 23	15	58	27	△ 12	11	15	64	21	△ 6	6
	建設業	△ 27	0	69	31	△ 31	△ 4	8	61	31	△ 23	8
	製造業	△ 37	12	48	40	△ 28	9	8	64	28	△ 20	8
	卸売・小売業	0	24	47	29	△ 5	△ 5	33	48	19	14	19
	運輸業	△ 38	6	77	17	△ 11	27	11	78	11	0	11
	サービス業	△ 19	21	58	21	0	19	14	67	19	△ 5	△ 5
雇用者の不足感	全産業	38	50	47	3	47	9	46	51	3	43	△ 4
	建設業	60	62	38	0	62	2	62	38	0	62	0
	製造業	22	32	60	8	24	2	24	68	8	16	△ 8
	卸売・小売業	35	43	52	5	38	3	38	62	0	38	0
	運輸業	31	44	56	0	44	13	33	67	0	33	△ 11
	サービス業	45	63	35	2	61	16	63	35	2	61	0

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは ３（前期から１ポイント下降）

主な上昇業種・・・　繊維・衣服等卸売業（△33→0）、機械器具小売業（0→25）
倉庫業（△20→40）

主な下降業種・・・　総合工事業（△21→△31）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（33→0）
道路貨物運送業（△34→△40）、情報サービス業（△13→△27）
技術サービス業（0→△14）、飲食店（100→67）
洗濯･理容･美容･浴場業（67→50）

来期の業況感ＢＳＩは △４（今期から７ポイント下降）

図5－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

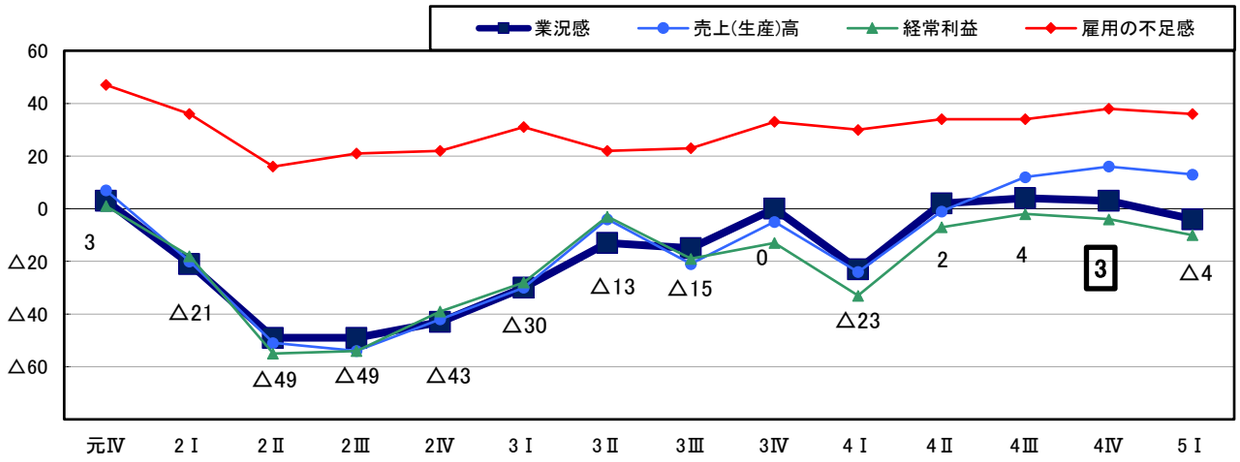


表5－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	4	20	63	17	3	△ 1	11	74	15	△ 4	△ 7
	建設業	△ 11	5	70	25	△ 20	△ 9	0	85	15	△ 15	5
	製造業	△ 29	13	67	20	△ 7	22	13	87	0	13	20
	卸売・小売業	12	20	73	7	13	1	10	70	20	△ 10	△ 23
	運輸業	9	38	31	31	7	△ 2	23	62	15	8	1
	サービス業	15	24	60	16	8	△ 7	12	72	16	△ 4	△ 12
売上（生産）高	全産業	12	30	56	14	16	4	26	61	13	13	△ 3
	建設業	△ 11	15	70	15	0	11	5	75	20	△ 15	△ 15
	製造業	△ 22	40	40	20	20	42	33	67	0	33	13
	卸売・小売業	24	40	50	10	30	6	23	64	13	10	△ 20
	運輸業	18	38	47	15	23	5	38	47	15	23	0
	サービス業	21	25	61	14	11	△ 10	31	55	14	17	6
経常利益	全産業	△ 2	25	46	29	△ 4	△ 2	16	58	26	△ 10	△ 6
	建設業	△ 22	15	50	35	△ 20	2	5	60	35	△ 30	△ 10
	製造業	△ 22	27	46	27	0	22	27	60	13	14	14
	卸売・小売業	△ 8	27	50	23	4	12	7	70	23	△ 16	△ 20
	運輸業	0	31	38	31	0	0	31	54	15	16	16
	サービス業	15	25	46	29	△ 4	△ 19	20	51	29	△ 9	△ 5
雇用者の不足感	全産業	34	43	52	5	38	4	39	58	3	36	△ 2
	建設業	55	45	55	0	45	△ 10	45	55	0	45	0
	製造業	22	47	53	0	47	25	40	60	0	40	△ 7
	卸売・小売業	12	33	60	7	26	14	30	63	7	23	△ 3
	運輸業	55	62	30	8	54	△ 1	46	54	0	46	△ 8
	サービス業	36	41	51	8	33	△ 3	39	57	4	35	2

（３）道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 14（前期から７ポイント下降）

主な上昇業種・・・　食料品製造業（△40→0）、情報サービス業（△50→△33）

主な下降業種・・・　総合工事業（△20→△33）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（33→△33）
道路旅客運送業（75→67）、道路貨物運送業（△33→△38）
宿泊業（67→25）

来期の業況感ＢＳＩは△18（今期から４ポイント下降）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

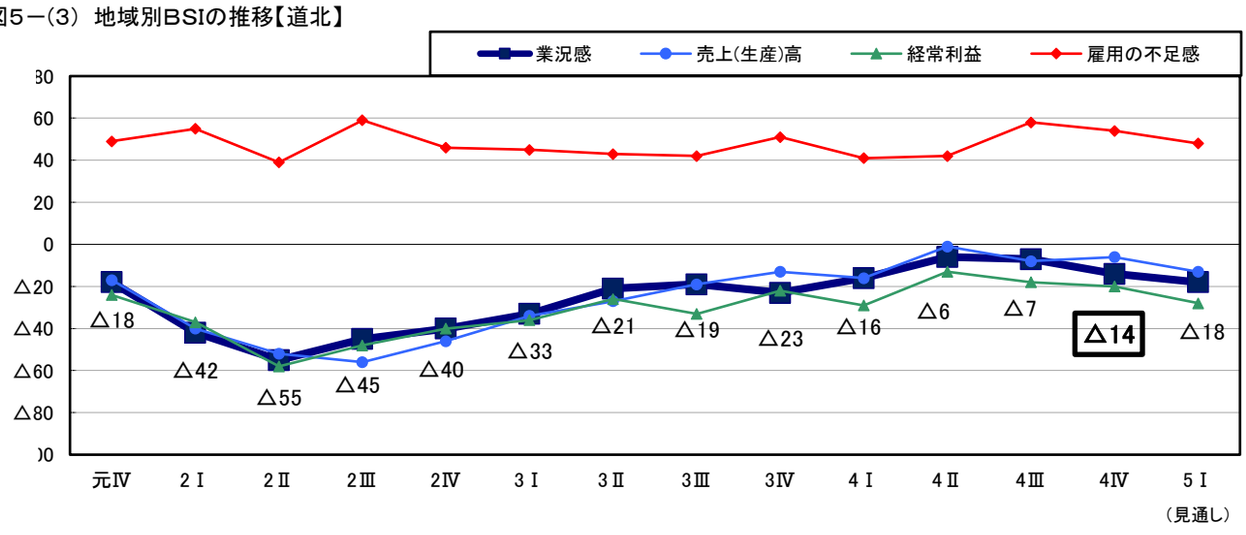


表５－(2)－②　地域別BSI【道北】

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 7	18	50	32	△ 14	△ 7	9	64	27	△ 18	△ 4
	建設業	△ 13	13	49	38	△ 25	△ 12	6	63	31	△ 25	0
	製造業	△ 35	20	50	30	△ 10	25	5	70	25	△ 20	△ 10
	卸売・小売業	0	18	37	45	△ 27	△ 27	9	46	45	△ 36	△ 9
	運輸業	8	25	56	19	6	△ 2	6	88	6	0	△ 6
	サービス業	4	16	52	32	△ 16	△ 20	16	52	32	△ 16	0
売上（生産）高	全産業	△ 8	25	44	31	△ 6	2	13	61	26	△ 13	△ 7
	建設業	△ 12	19	50	31	△ 12	0	6	63	31	△ 25	△ 13
	製造業	△ 35	30	40	30	0	35	10	65	25	△ 15	△ 15
	卸売・小売業	0	18	27	55	△ 37	△ 37	9	55	36	△ 27	10
	運輸業	16	44	43	13	31	15	19	75	6	13	△ 18
	サービス業	0	16	52	32	△ 16	△ 16	17	50	33	△ 16	0
経常利益	全産業	△ 18	18	44	38	△ 20	△ 2	9	54	37	△ 28	△ 8
	建設業	△ 63	6	44	50	△ 44	19	6	44	50	△ 44	0
	製造業	△ 23	20	45	35	△ 15	8	5	60	35	△ 30	△ 15
	卸売・小売業	0	9	55	36	△ 27	△ 27	0	64	36	△ 36	△ 9
	運輸業	△ 8	33	40	27	6	14	13	56	31	△ 18	△ 24
	サービス業	0	20	40	40	△ 20	△ 20	17	50	33	△ 16	4
雇用者の不足感	全産業	58	55	44	1	54	△ 4	49	50	1	48	△ 6
	建設業	88	75	25	0	75	△ 13	69	31	0	69	△ 6
	製造業	47	60	35	5	55	8	55	40	5	50	△ 5
	卸売・小売業	34	27	73	0	27	△ 7	27	73	0	27	0
	運輸業	58	63	37	0	63	5	56	44	0	56	△ 7
	サービス業	58	44	56	0	44	△ 14	38	62	0	38	△ 6

（４）オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △６（前期から６ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△40→△10）、食料品製造業（0→33）
機械器具小売業（△100→0）、道路貨物運送業（△33→20）

主な下降業種・・・　飲食料品卸売業（100→34）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→△50）
技術サービス業（0→△50）、宿泊業（67→△33）
飲食店（0→△50）

来期の業況感ＢＳＩは△15（今期から９ポイント下降）

図５－(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

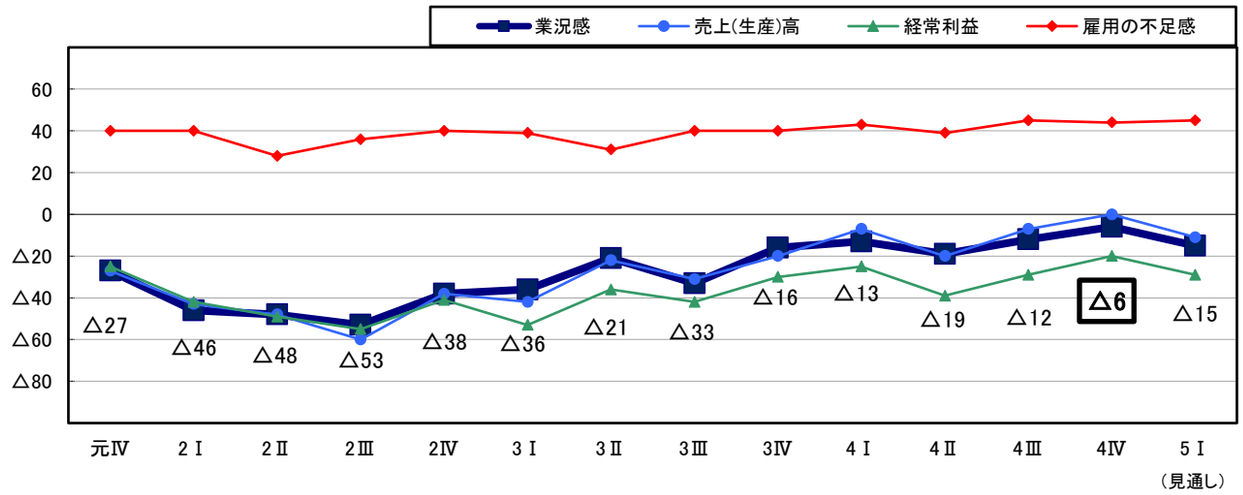


表５－(4) 地域別BSI(オホーツク)

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 12	18	58	24	△ 6	6	12	61	27	△ 15	△ 9
	建設業	△ 45	0	82	18	△ 18	27	0	73	27	△ 27	△ 9
	製造業	0	33	56	11	22	22	11	67	22	△ 11	△ 33
	卸売・小売業	△ 14	33	11	56	△ 23	△ 9	11	22	67	△ 56	△ 33
	運輸業	△ 18	20	70	10	10	28	20	70	10	10	0
	サービス業	16	10	60	30	△ 20	△ 36	20	70	10	10	30
売上（生産）高	全産業	△ 7	24	52	24	0	7	20	49	31	△ 11	△ 11
	建設業	△ 55	9	46	45	△ 36	19	9	27	64	△ 55	△ 19
	製造業	12	33	45	22	11	△ 1	11	56	33	△ 22	△ 33
	卸売・小売業	14	67	11	22	45	31	44	12	44	0	△ 45
	運輸業	△ 9	10	90	0	10	19	20	80	0	20	10
	サービス業	16	10	60	30	△ 20	△ 36	20	70	10	10	30
経常利益	全産業	△ 29	15	50	35	△ 20	9	14	43	43	△ 29	△ 9
	建設業	△ 73	0	36	64	△ 64	9	0	36	64	△ 64	0
	製造業	0	25	62	13	12	12	11	56	33	△ 22	△ 34
	卸売・小売業	△ 14	33	34	33	0	14	22	11	67	△ 45	△ 45
	運輸業	△ 45	10	70	20	△ 10	35	20	60	20	0	10
	サービス業	0	10	50	40	△ 30	△ 30	20	50	30	△ 10	20
雇用者の不足感	全産業	45	46	52	2	44	△ 1	47	51	2	45	1
	建設業	64	55	45	0	55	△ 9	55	45	0	55	0
	製造業	67	63	37	0	63	△ 4	67	33	0	67	4
	卸売・小売業	29	33	56	11	22	△ 7	33	56	11	22	0
	運輸業	27	50	50	0	50	23	50	50	0	50	0
	サービス業	36	30	70	0	30	△ 6	30	70	0	30	0

（５）十勝

今期の業況感ＢＳＩは △25（前期から１ポイント下降）

主な上昇業種・・・　食料品製造業（△100→50）、生産用機械器具製造業（△67→△50）
道路旅客運送業（△50→△25）、道路貨物運送業（△43→△25）

主な下降業種・・・　総合工事業（△11→△38）、飲食料品卸売業（△67→△100）
機械器具小売業（0→△25）、宿泊業（100→0）

来期の業況感ＢＳＩは△22（今期から３ポイント上昇）

図５－(5) 地域別BSIの推移【十勝】

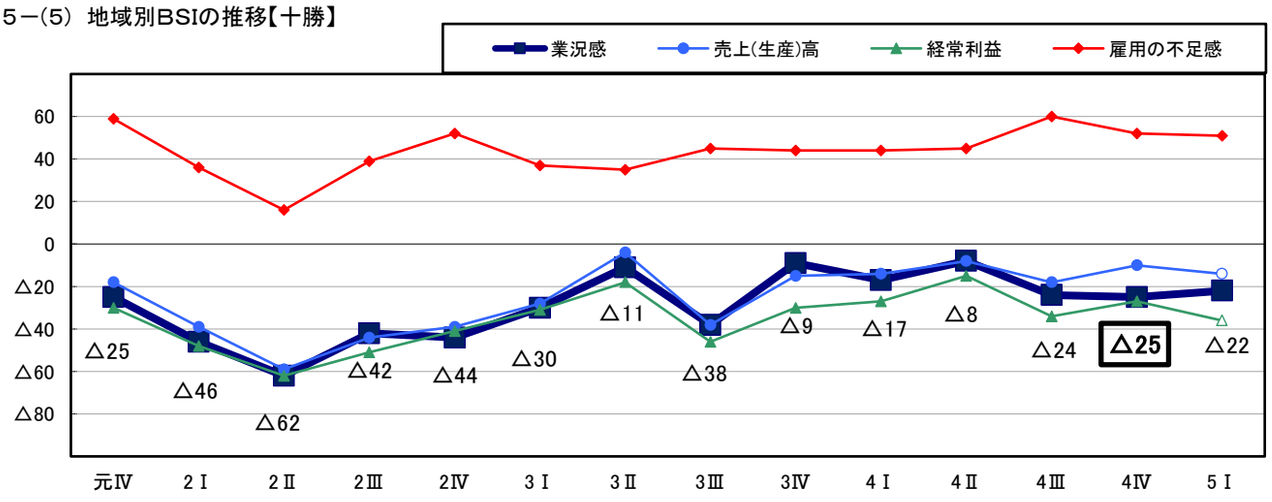


表５－(5) 地域別BSI(十勝)

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績					R5年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 24	11	53	36	△ 25	△ 1	9	60	31	△ 22	3
	建設業	△ 18	0	60	40	△ 40	△ 22	10	60	30	△ 20	20
	製造業	△ 75	22	56	22	0	75	13	62	25	△ 12	△ 12
	卸売・小売業	△ 25	20	30	50	△ 30	△ 5	10	40	50	△ 40	△ 10
	運輸業	△ 50	8	61	31	△ 23	27	8	69	23	△ 15	8
	サービス業	23	7	57	36	△ 29	△ 52	7	64	29	△ 22	7
売上（生産）高	全産業	△ 18	20	50	30	△ 10	8	17	52	31	△ 14	△ 4
	建設業	△ 36	0	50	50	△ 50	△ 14	10	50	40	△ 30	20
	製造業	△ 38	44	45	11	33	71	25	50	25	0	△ 33
	卸売・小売業	△ 25	20	60	20	0	25	20	40	40	△ 20	△ 20
	運輸業	△ 30	31	46	23	8	38	25	50	25	0	△ 8
	サービス業	23	7	50	43	△ 36	△ 59	7	64	29	△ 22	14
経常利益	全産業	△ 34	14	45	41	△ 27	7	11	42	47	△ 36	△ 9
	建設業	△ 45	10	20	70	△ 60	△ 15	10	30	60	△ 50	10
	製造業	△ 75	22	45	33	△ 11	64	13	49	38	△ 25	△ 14
	卸売・小売業	△ 50	30	30	40	△ 10	40	10	20	70	△ 60	△ 50
	運輸業	△ 50	8	61	31	△ 23	27	15	47	38	△ 23	0
	サービス業	23	7	57	36	△ 29	△ 52	7	57	36	△ 29	0
雇用者の不足感	全産業	60	52	48	0	52	△ 8	51	49	0	51	△ 1
	建設業	36	60	40	0	60	24	60	40	0	60	0
	製造業	63	22	78	0	22	△ 41	25	75	0	25	3
	卸売・小売業	75	50	50	0	50	△ 25	40	60	0	40	△ 10
	運輸業	90	85	15	0	85	△ 5	85	15	0	85	0
	サービス業	46	36	64	0	36	△ 10	36	64	0	36	0

（６）釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △14（前期から18ポイント上昇）

主な上昇業種・・・　総合工事業（△40→△20）、飲料・たばこ・飼料製造業（△100→△50）
パルプ･紙･紙加工品製造業（△100→0）、機械器具小売業（△100→△50）
道路貨物運送業（△33→△25）、洗濯・理容・美容・浴場業（△100→0）

主な下降業種・・・　食料品製造業（0→△50）、飲食料品小売業（67→0）、
道路旅客運送業（75→50）

来期の業況感ＢＳＩは△23（今期から９ポイント下降）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路･根室】

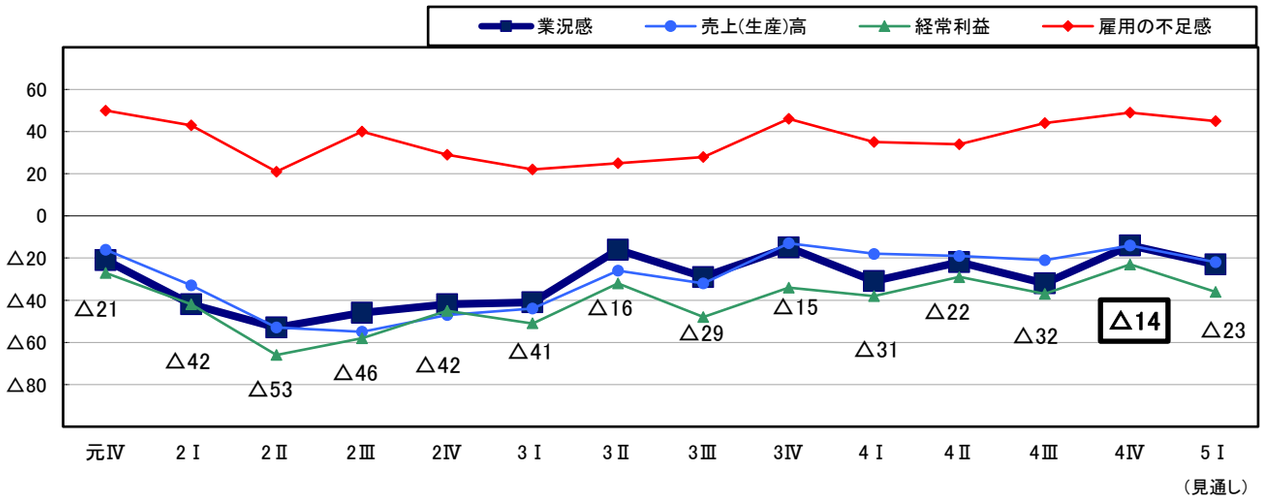


表５－(6) 地域別BSI(釧路･根室)

区分		R4年7-9月実績BSI	R4年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 32	11	64	25	△ 14	18	4	69	27	△ 23	△ 9
	建設業	△ 36	0	82	18	△ 18	18	0	82	18	△ 18	0
	製造業	△ 60	8	54	38	△ 30	30	0	54	46	△ 46	△ 16
	卸売・小売業	△ 22	9	64	27	△ 18	4	0	73	27	△ 27	△ 9
	運輸業	0	20	60	20	0	0	20	60	20	0	0
	サービス業	△ 44	20	60	20	0	44	0	80	20	△ 20	△ 20
売上（生産）高	全産業	△ 21	15	56	29	△ 14	7	7	64	29	△ 22	△ 8
	建設業	△ 27	0	64	36	△ 36	△ 9	0	55	45	△ 45	△ 9
	製造業	△ 10	15	62	23	△ 8	2	15	54	31	△ 16	△ 8
	卸売・小売業	△ 22	18	55	27	△ 9	13	9	64	27	△ 18	△ 9
	運輸業	△ 8	20	40	40	△ 20	△ 12	10	70	20	△ 10	10
	サービス業	△ 44	20	60	20	0	44	0	80	20	△ 20	△ 20
経常利益	全産業	△ 37	13	51	36	△ 23	14	2	60	38	△ 36	△ 13
	建設業	△ 36	0	64	36	△ 36	0	0	45	55	△ 55	△ 19
	製造業	△ 70	15	39	46	△ 31	39	8	30	62	△ 54	△ 23
	卸売・小売業	△ 22	9	55	36	△ 27	△ 5	0	64	36	△ 36	△ 9
	運輸業	△ 25	20	50	30	△ 10	15	0	90	10	△ 10	0
	サービス業	△ 33	20	50	30	△ 10	23	0	80	20	△ 20	△ 10
雇用者の不足感	全産業	44	51	47	2	49	5	47	51	2	45	△ 4
	建設業	45	55	45	0	55	10	55	45	0	55	0
	製造業	50	54	46	0	54	4	54	46	0	54	0
	卸売・小売業	33	55	36	9	46	13	45	46	9	36	△ 10
	運輸業	50	50	50	0	50	0	40	60	0	40	△ 10
	サービス業	38	40	60	0	40	2	40	60	0	40	0

６　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △15（前期から５ポイント下降）

- 業種別でみると、運輸業でマイナス幅が縮小、その他の業種でマイナス幅が拡大
- 地域別でみると、道央でマイナス幅が縮小、釧路・根室で横ばい、道南、道北、オホーツク、十勝でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感ＢＳＩは △20（今期から５ポイント下降）

図6　道内の景況感

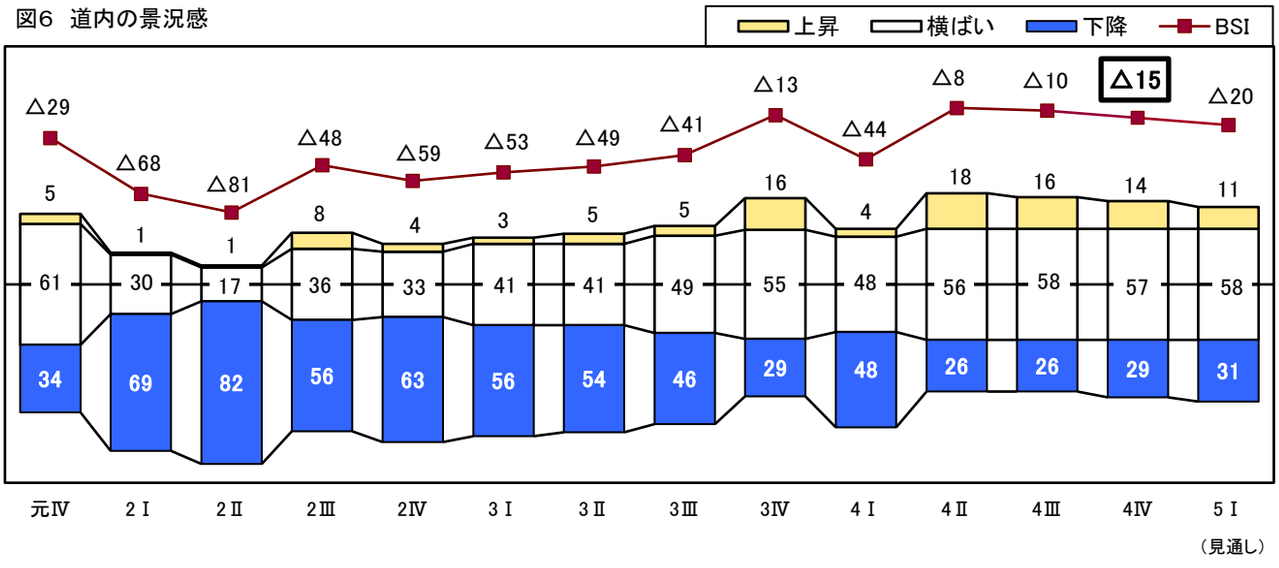


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区分		R4年7-9月実績	R4年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R5年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 10	14	57	29	△ 15	△ 5	11	58	31	△ 20	△ 5
	札幌市を除く	△ 14	12	56	32	△ 20	△ 6	11	56	33	△ 22	△ 2
	札幌市	△ 2	19	62	19	0	2	13	63	24	△ 11	△ 11
業種	建設業	△ 25	3	60	37	△ 34	△ 9	5	56	39	△ 34	0
	製造業	△ 12	16	52	32	△ 16	△ 4	10	55	35	△ 25	△ 9
	卸売・小売業	△ 2	17	51	32	△ 15	△ 13	17	49	34	△ 17	△ 2
	運輸業	△ 11	19	61	20	△ 1	10	11	64	25	△ 14	△ 13
	サービス業	△ 7	13	60	27	△ 14	△ 7	13	61	26	△ 13	1
資本金	5千万円未満	△ 18	10	56	34	△ 24	△ 6	11	53	36	△ 25	△ 1
	5千万円以上～1億円未満	0	18	59	23	△ 5	△ 5	12	64	24	△ 12	△ 7
	1億円以上	8	22	61	17	5	△ 3	13	68	19	△ 6	△ 11
地域	道南	△ 19	10	58	32	△ 22	△ 3	10	57	33	△ 23	△ 1
	道央	△ 10	15	63	22	△ 7	3	11	64	25	△ 14	△ 7
	札幌市を除く	△ 20	11	63	26	△ 15	5	9	64	27	△ 18	△ 3
	札幌市	△ 2	19	62	19	0	2	13	63	24	△ 11	△ 11
	道北	2	15	47	38	△ 23	△ 25	8	62	30	△ 22	1
	オホーツク	△ 4	12	59	29	△ 17	△ 13	18	53	29	△ 11	6
	十勝	△ 18	9	52	39	△ 30	△ 12	16	36	48	△ 32	△ 2
	釧路・根室	△ 21	15	49	36	△ 21	0	9	49	42	△ 33	△ 12

７　業種・地域別企業経営者の声（令和４年10－12月）

【建設業】

道南	・短期間で資材価格が上昇するので、見積や契約が難しい。（住宅建築業） ・重機の燃料やタイヤ、オイル類など、様々な価格が上昇しており、経営の負担となっている。（採石事業者）
道央	・即戦力となる資格保有者や若い人材の確保を積極的に進めている。（建設業） ・前年比 15%減の住宅着工件数で、フル操業にはほど遠い状況。（住宅建築業）
道北	・民間建設工事等は回復傾向にあるが、資材高騰から収益が低下、設備機器の納品遅れから工期内完了に向け時間外労働が増加。（建設業） ・実質賃金の減少や住宅価格の上昇などを背景に、新築住宅から中古住宅に需要がシフトしており、新築住宅建設を主とする当社にとって業況は厳しい。（建築業） ・重機オペレーターなどの現場作業員やダンプ運転手等の人出不足が原因で、受注できないこともある。（砂利採取業） ・従業員の高齢化、人手不足が課題であり、将来的に規模縮小を考えざるを得ない。（一般土木建築工事業）
釧路・根室	・人材不足のために工事規模の縮小や工事予定を先延ばしせざるを得ない。（一般土木建築工事業） ・工事価格が上昇し受注が困難になってきている。受注機会を求め、地元にとどまらず、他地域でも積極的に営業活動を行っている。（建築工事業） ・「単品スライド」の運用ルールが改定され、以前よりも受注者負担の軽減が図られている。（建設業）

【製造業】

道南	・値上げしても、贈答品やふるさと納税の返礼品などの需要は堅調。（水産加工業） ・梱包資材の価格が 1.7 倍ほど上がり、１～２割程度価格に上乗せした。（水産加工業） ・どさんこプラザでテスト販売を行ったところ、商品の認知度が上昇。（水産加工業） ・電気料金、燃料費、包装資材の価格が上昇し負担となっている。（食品加工業） ・毎月のように原材料等が値上がりするので、価格転嫁のタイミングが難しい。（水産食品製造業）
道央	・物価上昇などにより、消費マインドが悪化しないか心配。（水産食品製造業） ・自動車メーカーの減産が続き、受注量が減少する中で、原材料や副資材などのコスト上昇が経営を圧迫（鋼材製造業） ・電気、ガス料金の高騰等で利益が大きく減少。（調味料製造業） ・国内の合板木材工場はフル稼働しており、特に針葉樹材の需要は大きい。一方で電気料金等上昇により値上げが追いつかず、利幅は縮小。（製材業） ・ウイスキーができあがるまで赤字だが、インバウンドが戻り客単価が上昇することを期待している。（酒類製造業）
道北	・値上がりによる消費マインドの悪化を懸念。（飲食料品製造業） ・仕入単価の上昇が止まらず、商品価格を値上げしても間に合わず、採算は悪化傾向にある。（家具･木材製造業） ・コロナ禍でイベントが中止･規模縮小され、ポスター･チラシの受注が減少。原油高騰と円安の影響も大きく、価格転嫁も追いつかず、利益が減少。（印刷業） ・燃油、原材料価格など様々な価格が上昇し、経営状況が厳しい。（水産加工業） ・慢性的な人手不足で、特に工場作業員が不足。（食品製造業）
オホーツク	・人出不足が深刻な中、サケ水揚げが最盛期を迎え、外国人労働者を雇用したがコミュニケーションが難しく、対応に苦慮している。（水産加工業） ・原材料等価格上昇に販売価格が追いつかない。（セメント製造業）
十勝	・若者の採用が難しく、将来を見据えた人材育成が課題。（部品製造業） ・資材価格が高騰する中、建築戸数が減少。（建築用金属製品製造業） ・原料である生乳の高騰については値上げができたが、エネルギーや輸送コストの上昇分は製品価格に転嫁できていない。（乳製品製造業）
釧路・根室	・値上げで消費者が離れる恐れがあるので躊躇している。（水産加工業） ・コロナ禍で休業する店舗が多く、料亭向けの高級魚の需要が減少し、一般家庭向けの魚種の需要が増えた。（食品製造業） ・サンマの選別作業など中心に恒常的に人手が不足。（食品製造業） ・電気料金、運送費など様々な価格が高騰しており、さらに機械部品の納品が遅延しているため、工場の操業に大きく影響。（製材･木製品製造業）

【卸売・小売業】

道南	・輸出用中古タイヤの販売は、円安により利益が上がった。一方で、円安が継続することで、海外の契約先から値下げを要求される恐れがある。（中古タイヤ輸出業） ・仕入れ価格が上がっているが、客離れが心配で価格転嫁できない。（精肉店） ・電気料金が高騰し、経営への負担が大きい。（スーパー） ・正規、非正規ともに人出不足が続き、更に状況が悪化している。（スーパー） ・全国旅行支援の継続で観光客増加に期待。（土産物等小売業） ・仕入価格の上昇が予想される中、光熱費等の価格転嫁ができない。（自動車小売業）
道央	・物価高騰により修繕費が高騰し経営に影響。（小売業） ・コスト高の中で、オンリーワン技術･商品の開発に向け努力している。（衣服卸売業） ・原材料、資材高騰によって利益が圧迫されており、価格転嫁が必要。さらに従業員が確保できず、売上増に向けた取組がままならない。（菓子パン小売業）
道北	・コロナ禍で、ライフスタイルや消費者意識が変化し、洋服の売上げは低迷。（洋品店） ・生活必需品については値上げ後も売上は安定している。（小売業） ・ホタテ等の原材料費や燃料高騰が続いており、価格転嫁が追いつかず、苦しい状況が続いている。（小売業） ・慢性的に人手不足で募集しても応募がまったくない。（小売業） ・仕入価格の上昇、電気ガスなどの光熱費が上昇し増収にブレーキ（食品小売業） ・人手不足が喫緊の課題。特にレジ要員が足りず、セルフレジを検討中。（小売業） ・値上げによる顧客離れが不安。（食肉卸売業）
十勝	・半導体不足で除雪機の生産台数が減少。店舗が要望する数の確保ができず、品薄感が強まっている。（機械販売業） ・人材不足が長期化し、自社だけでなく業界全体で社員が高齢化している。（建築材料卸売業）
釧路・根室	・ロシアのウクライナ侵略の影響や、アラスカ禁漁の影響が出ている。（卸売業） ・繁忙期は人手不足となっている。（卸売業） ・コロナ禍で出勤停止の社員が増え、人手不足となった時期もあったが、最近は落ち着いている。（小売業）

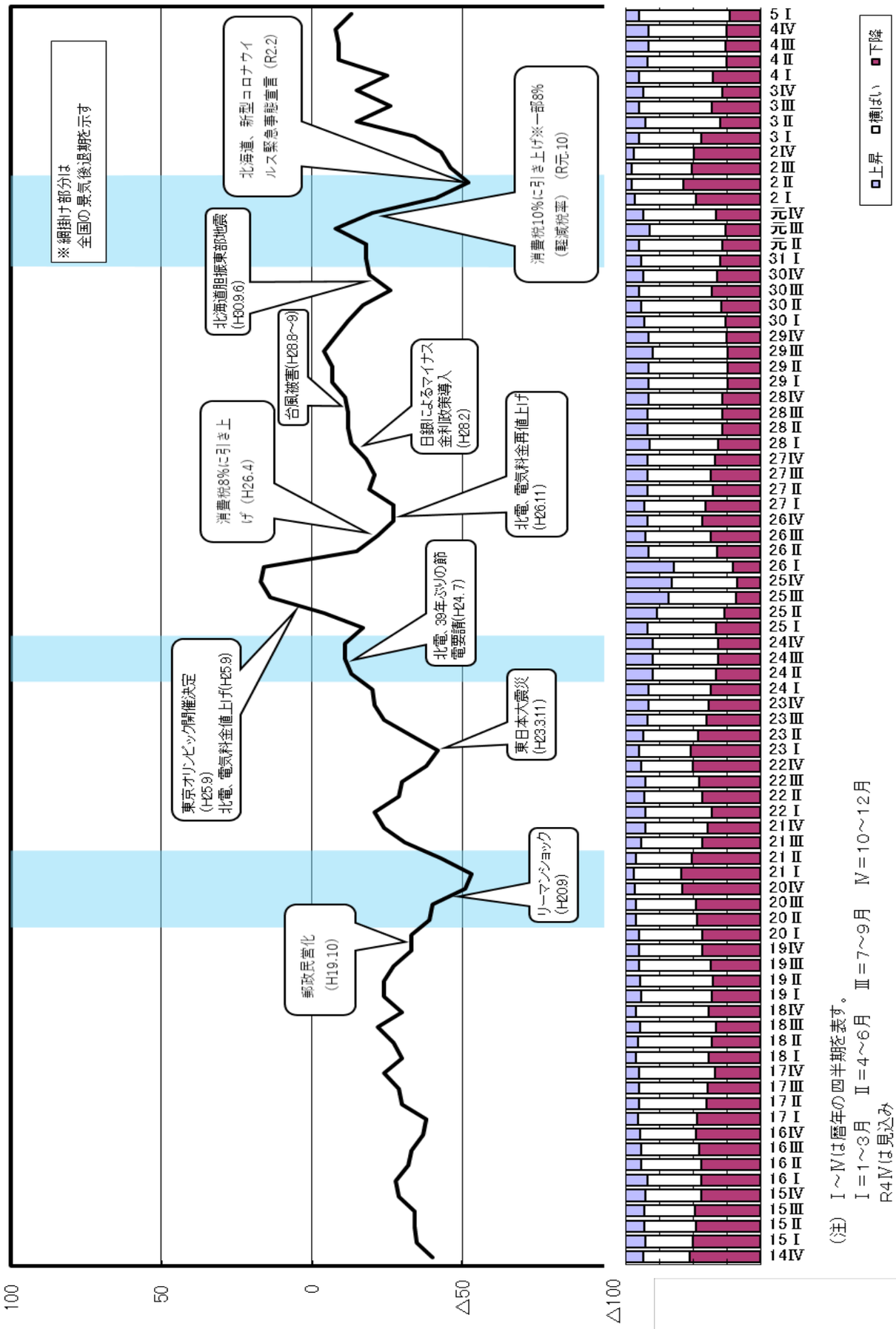
【運輸業】

道南	・全国旅行支援の影響は、まだ見えてはいないが、好影響を期待。（観光バス）
道央	・燃料代が高騰しているが、輸送代に価格転嫁できず利益が減少。（運輸業）
道北	・売上が徐々に戻りつつあるが、燃料費上昇や人手不足が課題。（運送業） ・燃料価格上昇分が運賃に転嫁できず、経営に影響。（一般乗合旅客自動車運送業） ・新車や中古車は、納車まで１年待ちの状態であり、廃車予定だった車輌を修繕し車検を取り直した。（一般貨物自動車運送業） ・感染者数が高止まりしており、利用者の回復に陰りがある。乗務員も不足しており、今後、路線の再編等も検討せざるをえない。（運送業）
オホーツク	・感染再拡大の中でも行動制限がなく、どうみん割や各種クーポンの効果もあって、観光客が戻りつつあり、貸切バスの稼働率が増加傾向にある。（運輸業） ・バス運転手、整備士、清掃員などが不足し、時間外勤務や公休日の出勤などが増えてきている。業界全体で人手不足が顕著。（運輸業） ・乗務員不足のため、流氷観光の繁忙期に貸切バスがフル稼働できない恐れ。（一般貸切旅客自動車運送業） ・燃料費が高騰する中で、荷主側の賃上げが期待できず、利益減少が懸案。（一般貸切旅客自動車運送業） ・景気低迷が、人材不足に拍車をかけている。（一般乗用旅客自動車運送業）
十勝	・ガスの運搬には様々な資格が必要であり、人材育成には時間を要するので、先を見越して運転手を募集しているが、応募は低調である。（ガス運搬事業者）
釧路・根室	・原油価格高騰により輸送コストが増大したため、運賃の値上げを実施。（運送業）

【サービス業】

道南	・コロナ禍前は、外国人観光客が約８割を占めていたが、現在は国内観光客が殆どであり、その８割程度が道内観光客である。（宿泊業） ・第７波で、団体客の予約が取消され、売上にも影響した。（宿泊業） ・近頃はブリの漁獲量が急増しているが加工方法がわからず苦労している。（宿泊業） ・例年 11 月以降は観光客が減少。はやくインバウンドが回復してほしい。（観光施設） ・道外客やインバウンドが回復しない限り、経営は厳しい。（観光施設） ・若者層を取り込むためにネット予約もできるようにしたい。（旅行代理業）
道央	・年末年始の予約状況は 70～80%程度で、年明けから春節にかけて順調。（宿泊業） ・12 月は修学旅行等を中心に予約が順調。国内客・海外客ともに 2018 年度の状況に近づきつつある。（宿泊業） ・コロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年と違い、売上の状況は良い。（宿泊業） ・小売スペースは６月までは売上が減少傾向だったが、９月以降回復。特に道の補助金（中小･小規模企業新規事業展開･販売促進支援補助金）を活用し開発した自社製品が好評で、売上に大きく貢献した。（観光業） ・清掃、厨房、受付、スキーリフト管理など、様々な職種の従業員が不足しており、予約の制限やランチ取りやめなども検討せざるを得ない。（観光業） ・コロナ禍でも解雇は行わなかったので、人出不足ではない。（観光業） ・紅葉の美しい 10 月は、例年観光客が一番多く、今年も盛況だった。（観光業） ・知床観光船の事故後、修学旅行のキャンセルが相次いだ。（遊覧船運営業） ・整骨院等は来店型サービスのため、コロナ禍以降、対面での接触機会を減らさなければならず、売上が減少。（医療･福祉サービス業）
道北	・全国旅行支援がスタートし水際対策も緩和され、売上増加を期待している。（ホテル旅館業） ・感染症の状況次第で人流は増減し、光熱費の値上げも相まって、今後も売上増は期待できない。（飲食業） ・町内でクラスターが発生し予約のキャンセルが相次ぎ、経営は厳しい。（飲食業） ・売上の半分を占める宴会は、コロナ禍前の 30～40%程度で厳しい状況が続く。（旅館･ホテル業）
オホーツク	・いわゆる第７波の下で、昼の営業を取りやめている。（宿泊業） ・コロナ禍でバスツアーが殆ど無くなり、入場者数が低迷。（レジャー施設） ・パートタイム労働者の求人を出しているが、全く応募がない。このままでは最盛期に機会ロスが生じかねない。（飲食業） ・特に食用油の値上がりが負担。客足が回復しない中で価格転嫁のタイミングが難しい。（飲食業）
十勝	・水際対策の緩和に伴って、訪日外国人観光客の回復を見据た受入態勢づくりを本格化しているが、コロナ禍で従業員を一度解雇したため、人手不足で客室の稼働を抑えなくてはならない。（宿泊業） ・採用活動の追い風にもなるように、働き方改革や健康経営、社内ＤＸに積極的に取り組んでいる。（土木建築サービス業）
釧路・根室	・コロナ禍以降、ホテルの婚礼･宴会等が回復せず苦戦。人員確保にも苦労。（労働者派遣業） ・コロナ禍以前のような客足が戻らず、売上は減少傾向が続く。（飲食業）

8　業況感の長期推移


※網掛け部分は
全国の景気後退期を示す
北海道、新型コロナウイルス緊急事態宣言（R2.2）
北海道胆振東部地震
(H30.9.6)
台風被害(H28.8～9)
消費税8%に引き上げ（H26.4）
日銀によるマイナス金利政策導入
(H28.2)
北電、電気料金再値上げ
(H26.11)
消費税10%に引き上げ※一部8%
（軽減税率）（R元.10）
北電、39年ぶりの節電要請(H24.7)
東京オリンピック開催決定
(H25.9)
北電、電気料金値上げ(H25.9)
東日本大震災
(H23.311)
リーマンショック
(H20.9)
郵政民営化
(H19.10)
100
50
0
△50
△100
5Ⅰ
4Ⅳ
4Ⅲ
4Ⅱ
4Ⅰ
3Ⅳ
3Ⅲ
3Ⅱ
3Ⅰ
2Ⅳ
2Ⅲ
2Ⅱ
2Ⅰ
元Ⅳ
元Ⅲ
元Ⅱ
31Ⅰ
30Ⅳ
30Ⅲ
30Ⅱ
30Ⅰ
29Ⅳ
29Ⅲ
29Ⅱ
29Ⅰ
28Ⅳ
28Ⅲ
28Ⅱ
28Ⅰ
27Ⅳ
27Ⅲ
27Ⅱ
27Ⅰ
26Ⅳ
26Ⅲ
26Ⅱ
26Ⅰ
25Ⅳ
25Ⅲ
25Ⅱ
25Ⅰ
24Ⅳ
24Ⅲ
24Ⅱ
24Ⅰ
23Ⅳ
23Ⅲ
23Ⅱ
23Ⅰ
22Ⅳ
22Ⅲ
22Ⅱ
22Ⅰ
21Ⅳ
21Ⅲ
21Ⅱ
21Ⅰ
20Ⅳ
20Ⅲ
20Ⅱ
20Ⅰ
19Ⅳ
19Ⅲ
19Ⅱ
19Ⅰ
18Ⅳ
18Ⅲ
18Ⅱ
18Ⅰ
17Ⅳ
17Ⅲ
17Ⅱ
17Ⅰ
16Ⅳ
16Ⅲ
16Ⅱ
16Ⅰ
15Ⅳ
15Ⅲ
15Ⅱ
15Ⅰ
14Ⅳ
上昇
横ばい
下降
（注）Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R4Ⅳは見込み

3　特別調査

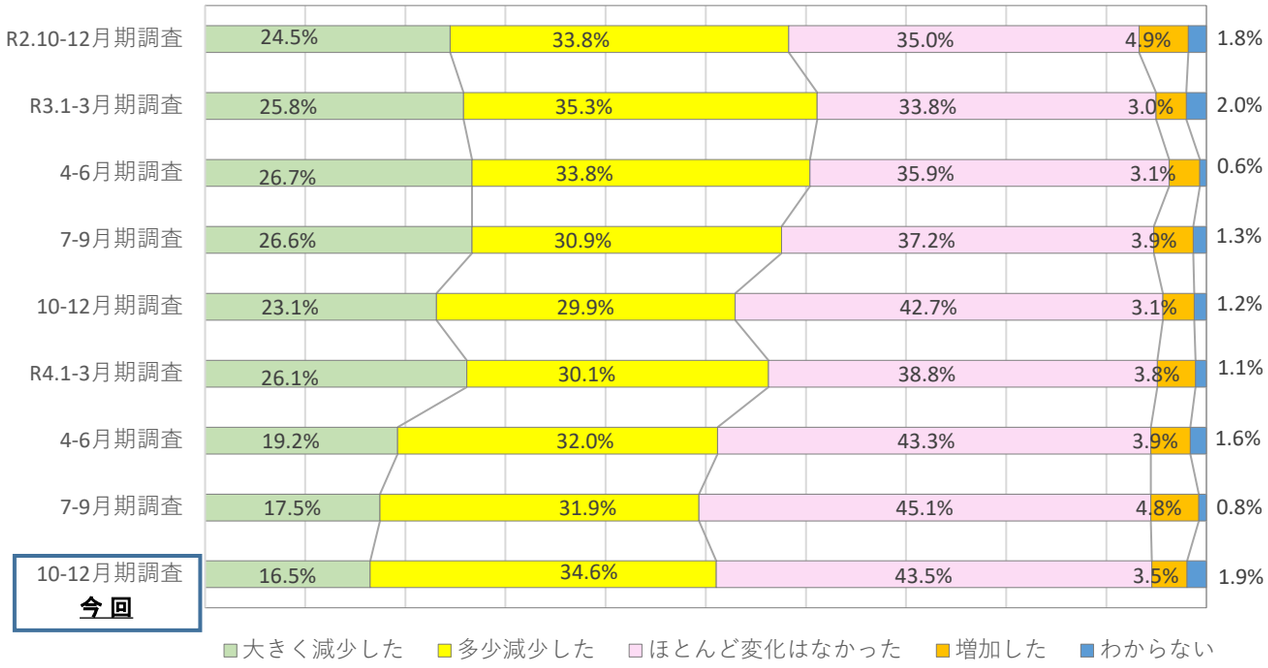
1　経営状況

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等について

（1）　売上･利益等への影響の程度

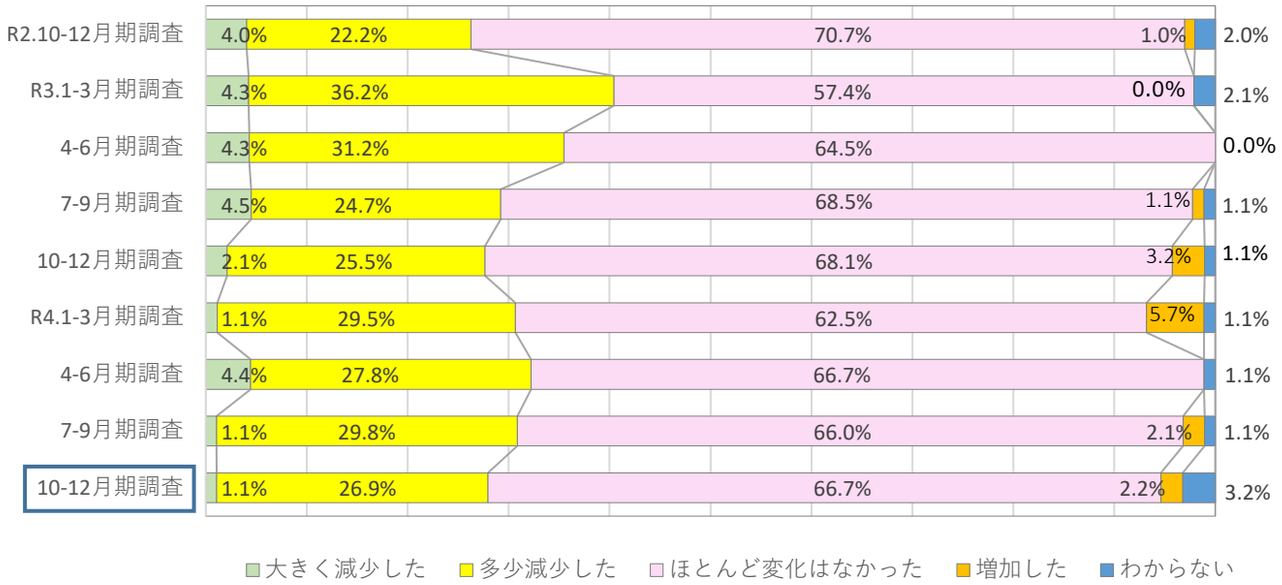
平年の同時期と比較した本年10-12月における売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が16.5%、「多少減少した」が34.6%と、合わせて51.1%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査（7-9月期）と比較し「減少した」の割合は拡大している。

全　体　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 51.1%　　（7-9月期：49.4%）1.7ポイント悪化

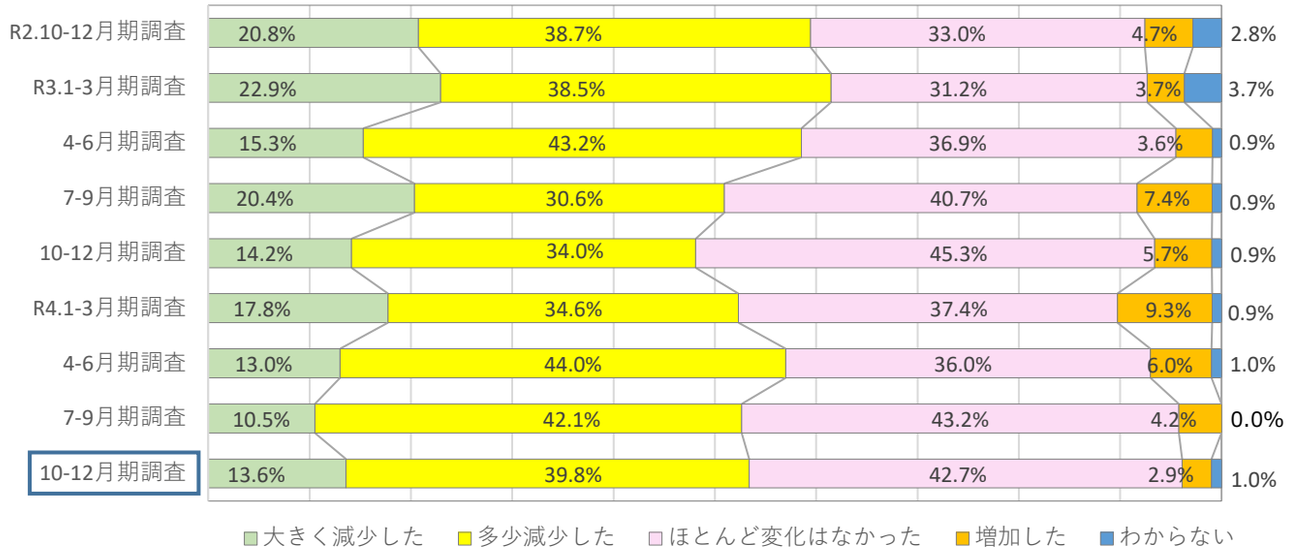


業種別では、前回調査（7-9月期）との比較で、「大きく減少した」と「多少減少した」を合わせた「減少した」の割合は、建設業、宿泊・旅行業で改善し、製造業、卸売･小売業、運輸業、サービス業、飲食業で悪化。

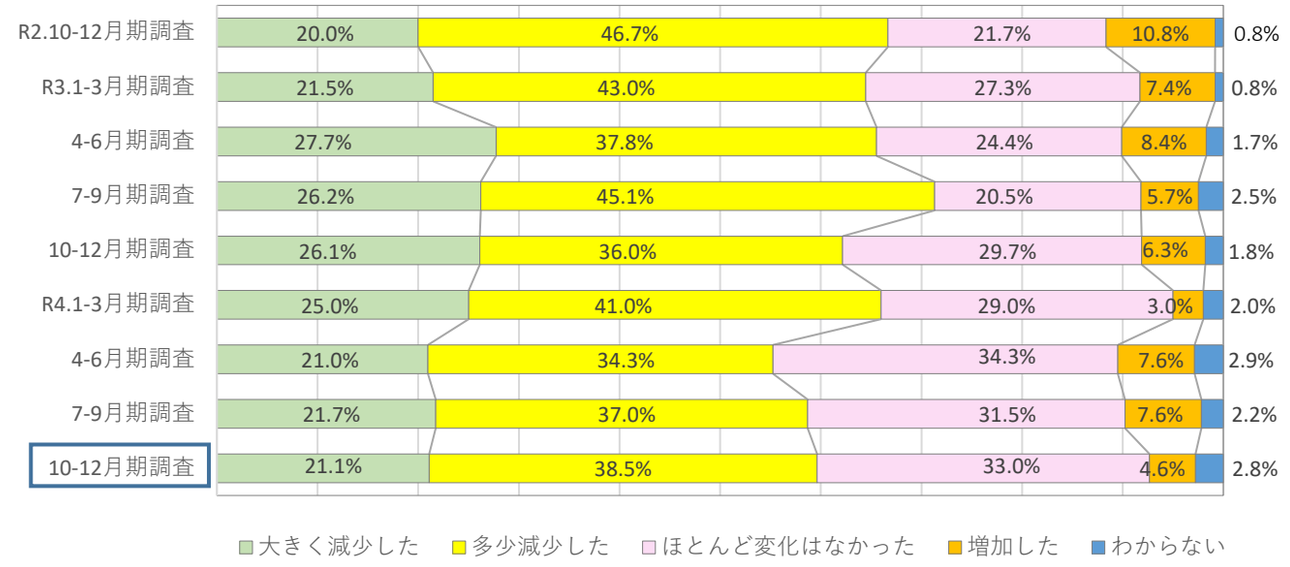
建設業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 28.0%　　（7-9月期：30.9%）2.9ポイント改善



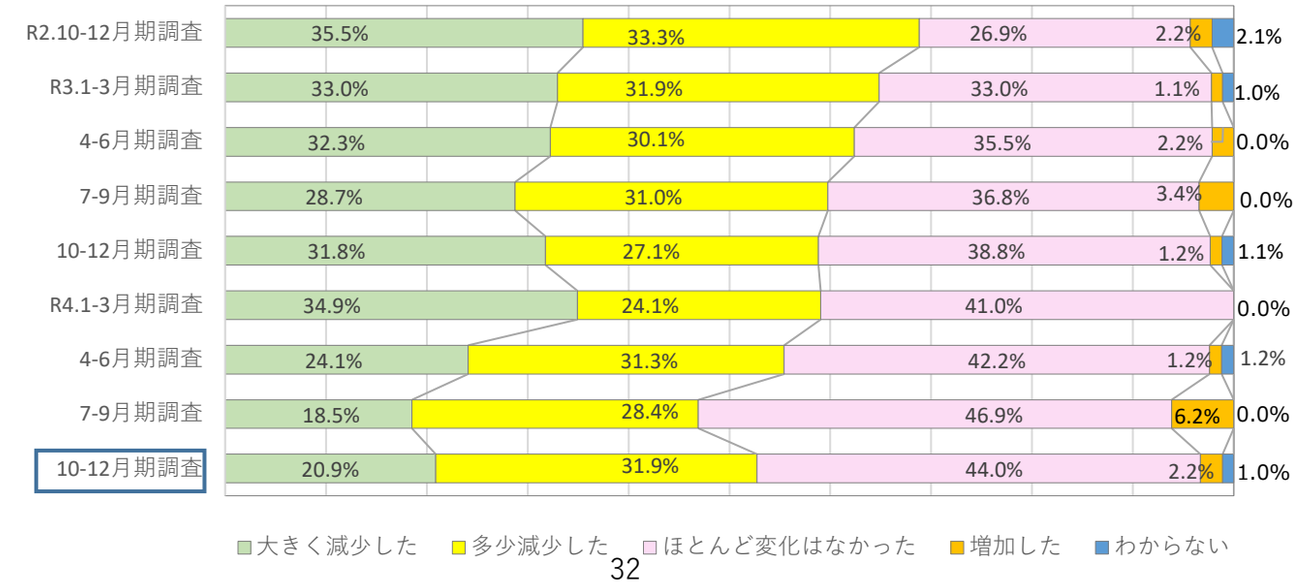
製造業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 53.4%　（7-9月期：52.6%）0.8ポイント悪化



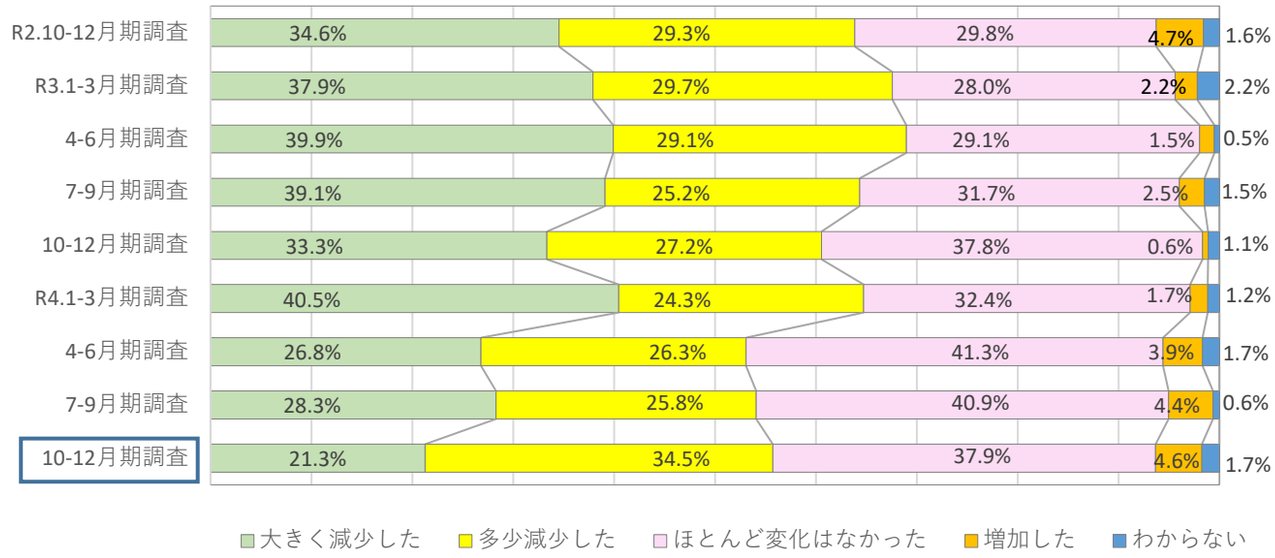
卸売・小売業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 59.6%　（7-9月期：58.7%）0.9ポイント悪化



運輸業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 52.8%　（7-9月期：46.9%）5.9ポイント悪化

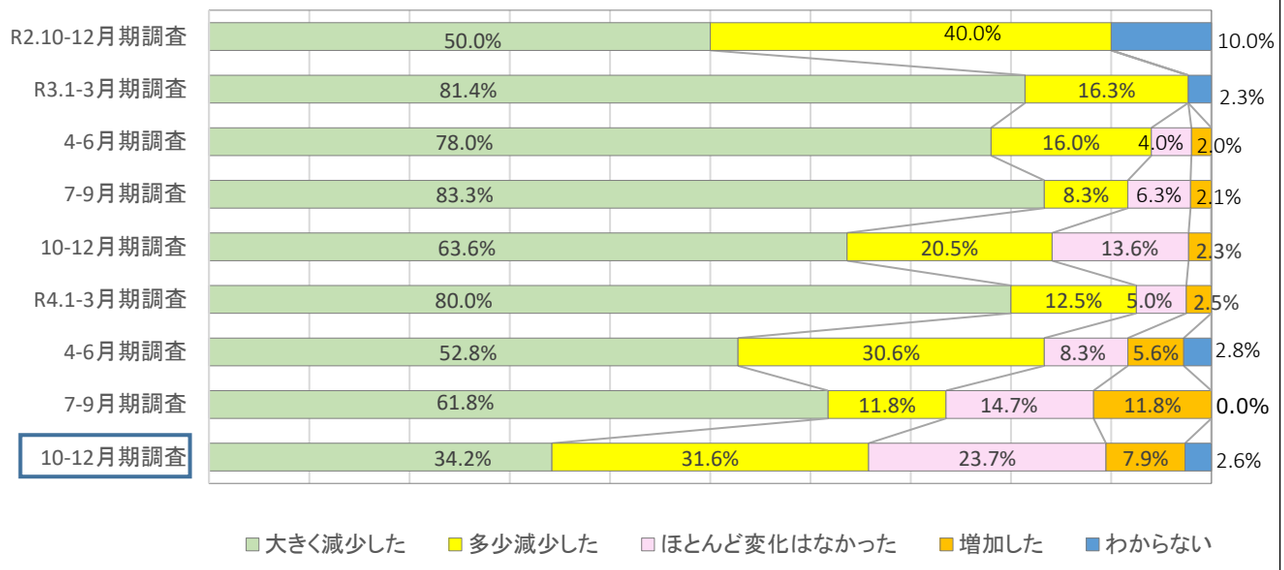


サービス業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 55.8%　（7-9月期：54.1%）1.7ポイント悪化

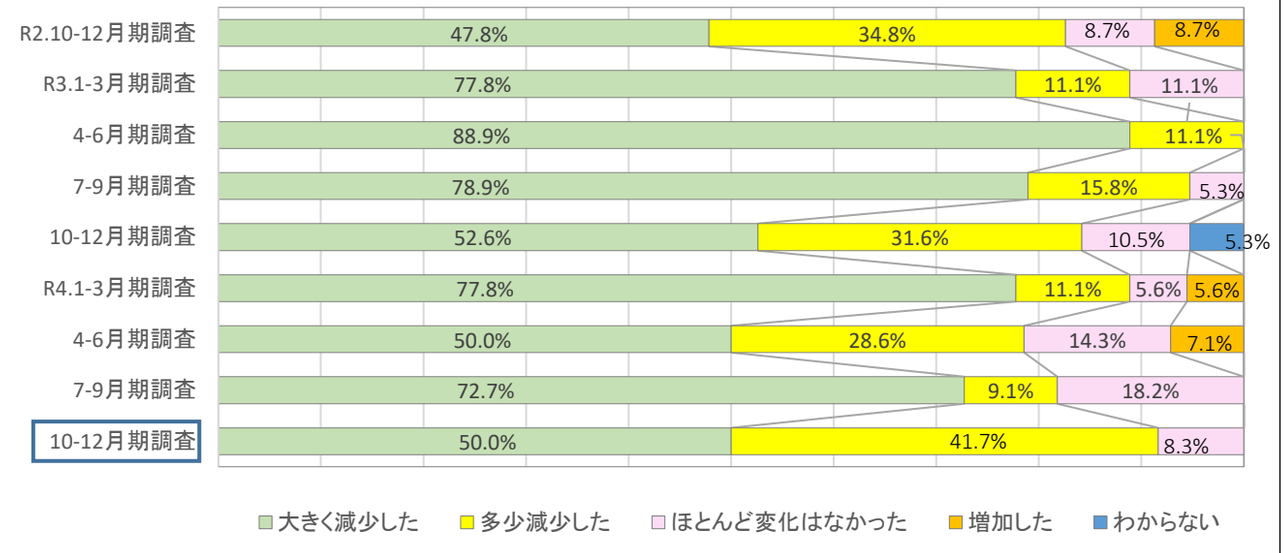


（サービス業のうち）

宿泊･旅行業「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 65.8%　（7-9月期：73.6%）7.8ポイント改善



飲食業　「大きく減少した」＋「多少減少した」　＝ 91.7%　（7-9月期：81.8%）9.9ポイント悪化



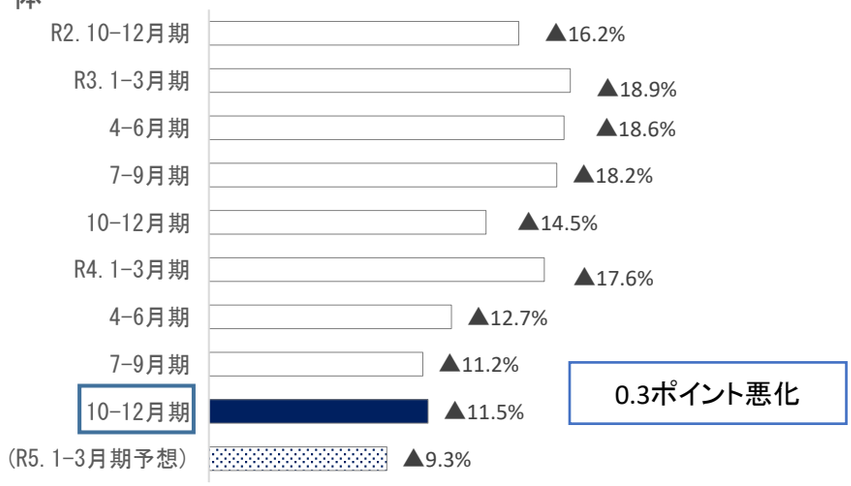
（２）売上の平年同期比減少率

令和４年10-12月期の売上について、コロナの影響を受ける以前の同時期と比較した増減率は、全体平均では▲11.5%となり、業種別では、卸売・小売業が▲14.1%と最も減少率が大きく、次いでサービス業が▲12.5%、運輸業が▲12.4%となっている。

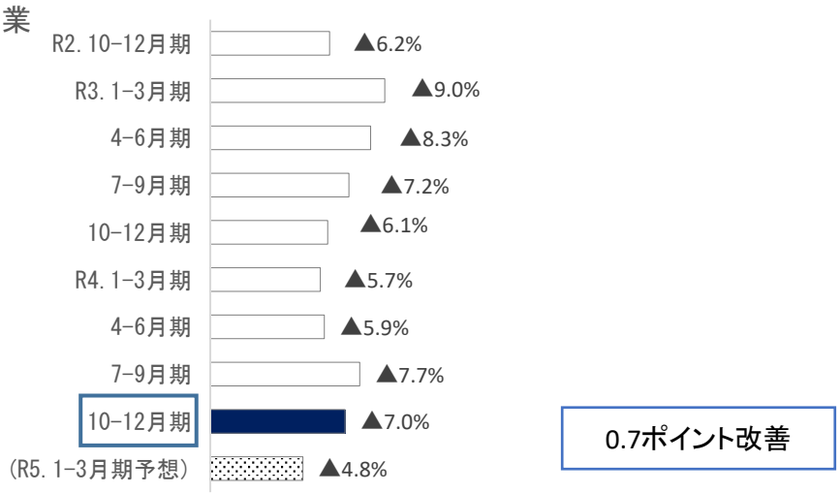
前回調査（7-9月期）と比較し、全体で0.3ポイント悪化。業種別では、サービス業が1.1ポイント、建設業が0.7ポイント改善。一方で、製造業が2.2ポイント、卸売・小売業が1.1ポイント、運輸業が0.1ポイント悪化。

令和5年1-3月期の予想は、全体で2.2ポイント改善、全ての業種で改善となっている。

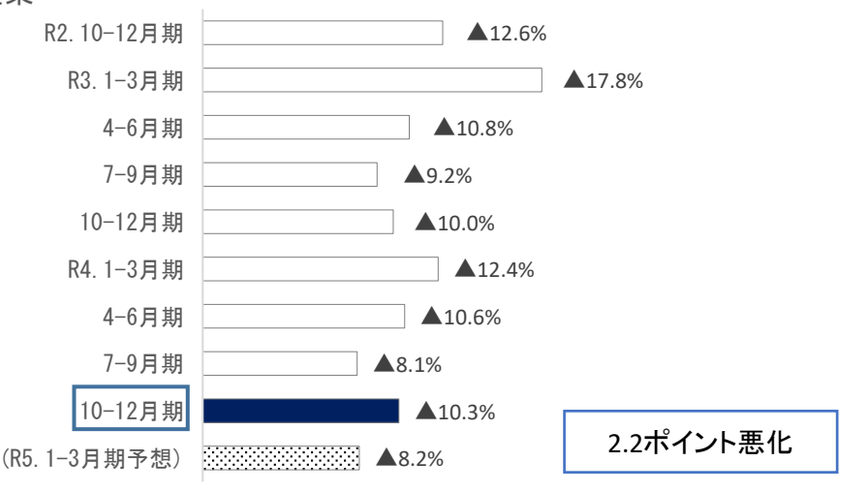
全　体



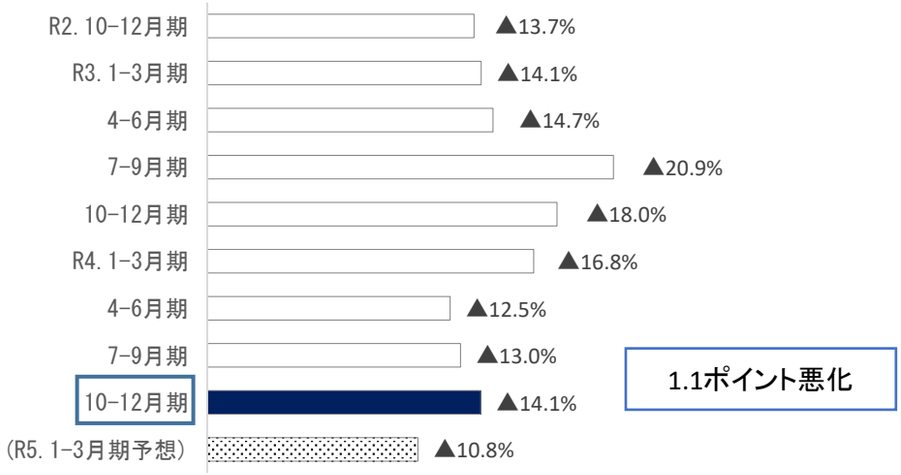
建設業



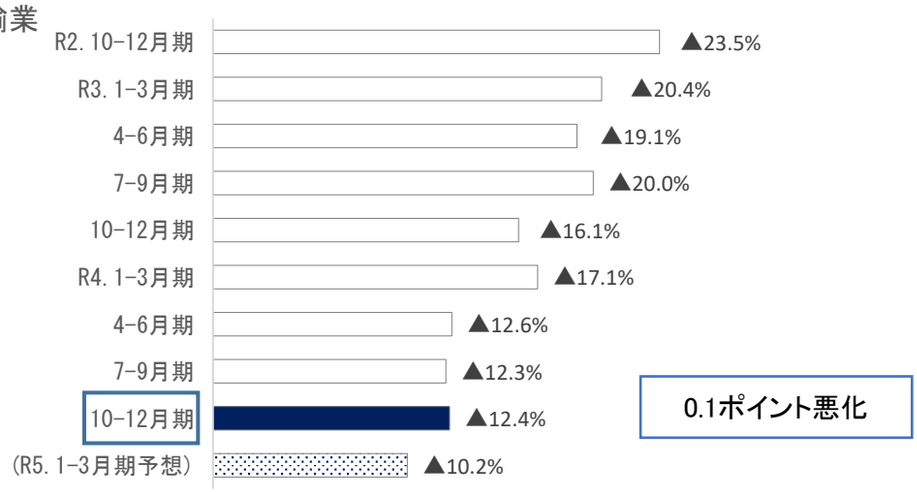
製造業



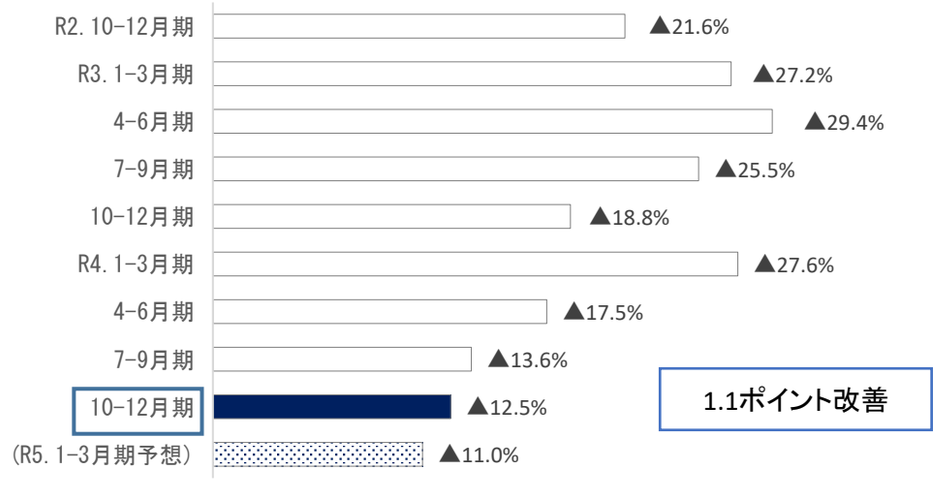
卸売・小売業



運輸業



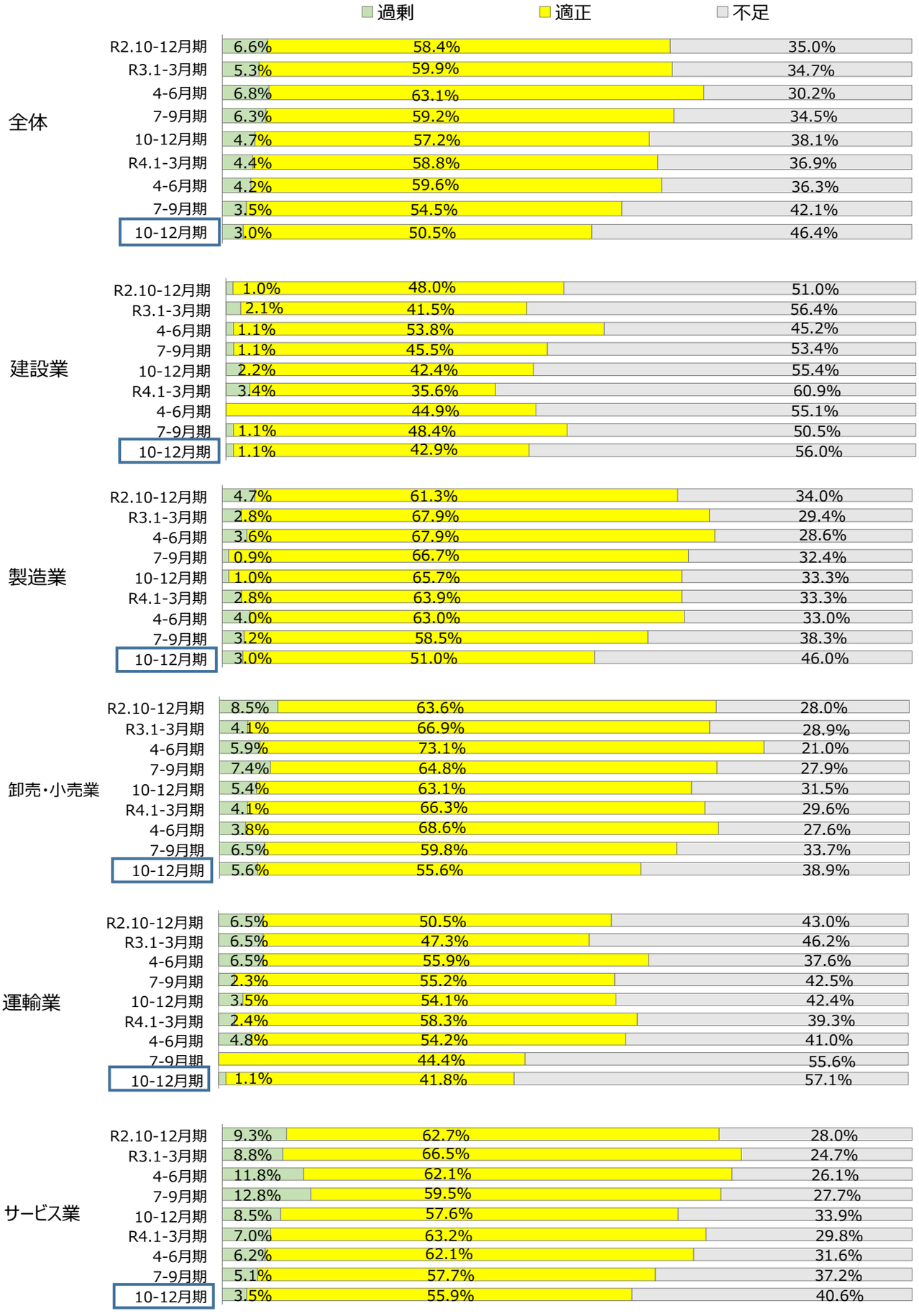
サービス業



（３）正規及び非正規従業員の過不足感

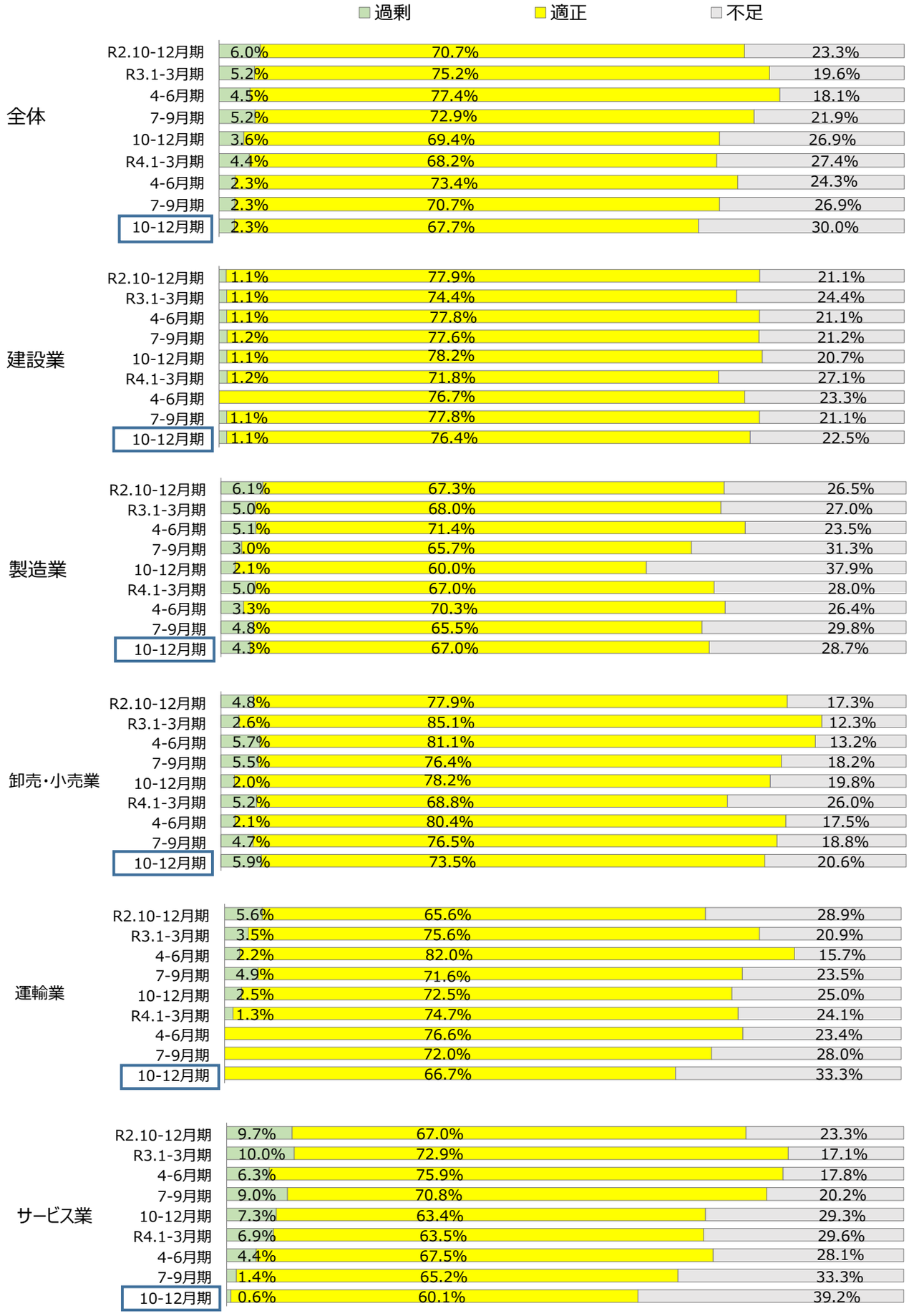
①正規従業員

正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」と回答した企業の割合が3.0%、「適正」が50.5%、「不足」が46.4%となっており、引き続き不足感が過剰感を上回った。前回調査（7-9月期）と比較し、「不足」の割合が全体で4.3ポイント拡大し、全ての業種で拡大。



②非正規従業員

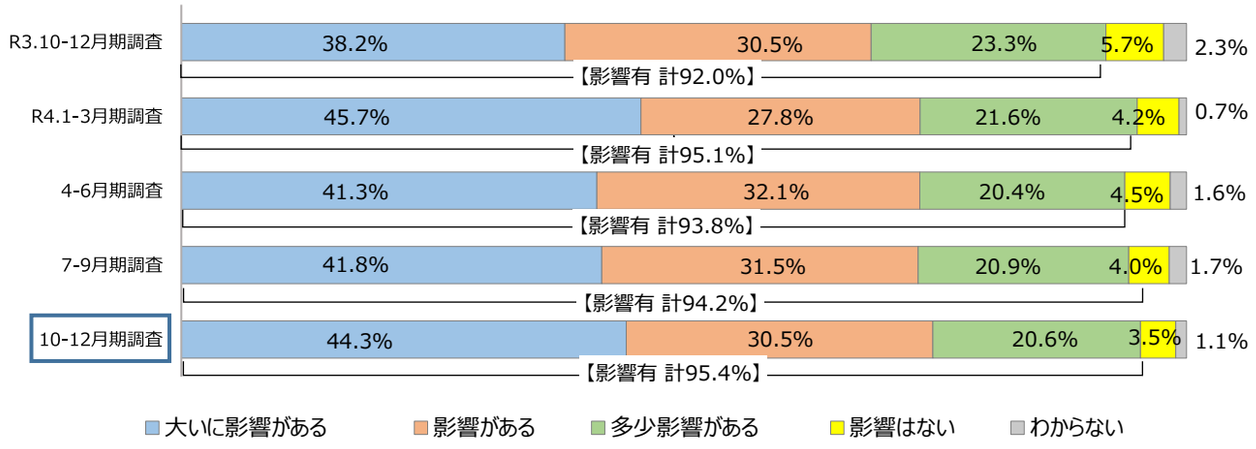
非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」と回答した企業の割合が2.3%、「適正」が67.7%、「不足」が30.0%となっており、引き続き不足感が過剰感を上回った。前回調査（7-9月期）と比較し、「不足」の割合が全体で3.1ポイント拡大し、製造業で縮小（1.1ポイント）した以外、全ての業種で拡大。



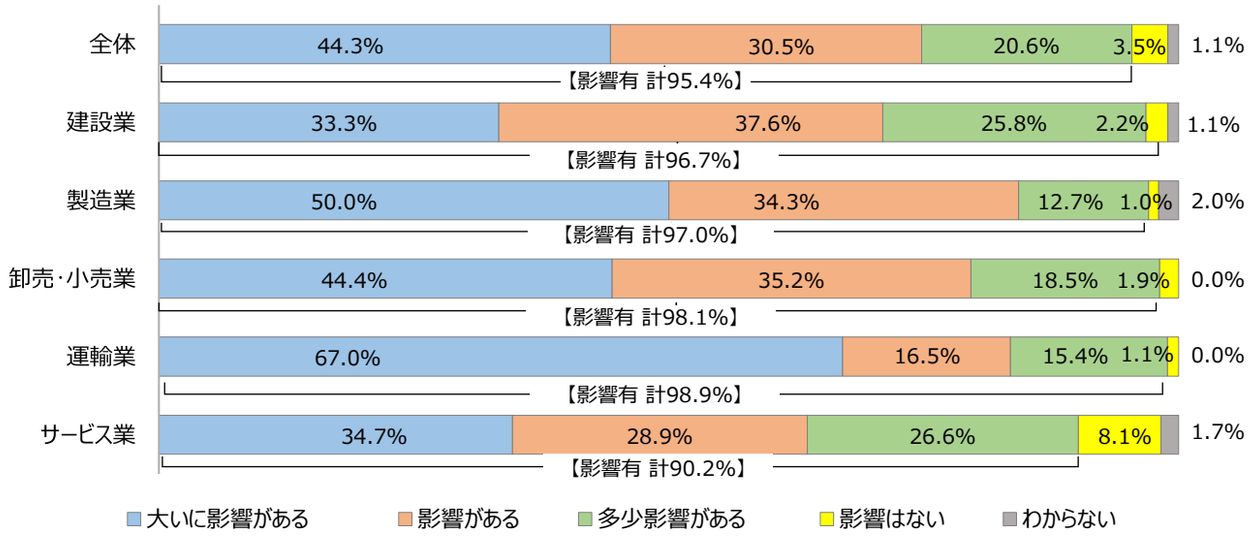
２ 原油・原材料価格高騰の影響について

（１） 経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業の割合が44.3%と最も大きく、「影響がある」の30.5%、「多少影響がある」の20.6%と合わせて、95.4%の企業が「影響がある」と回答しており、調査開始以降、「大いに影響がある」、「影響がある」、「多少影響がある」を合わせた「影響がある」と回答した企業の割合は９割を超え、高い水準で推移。

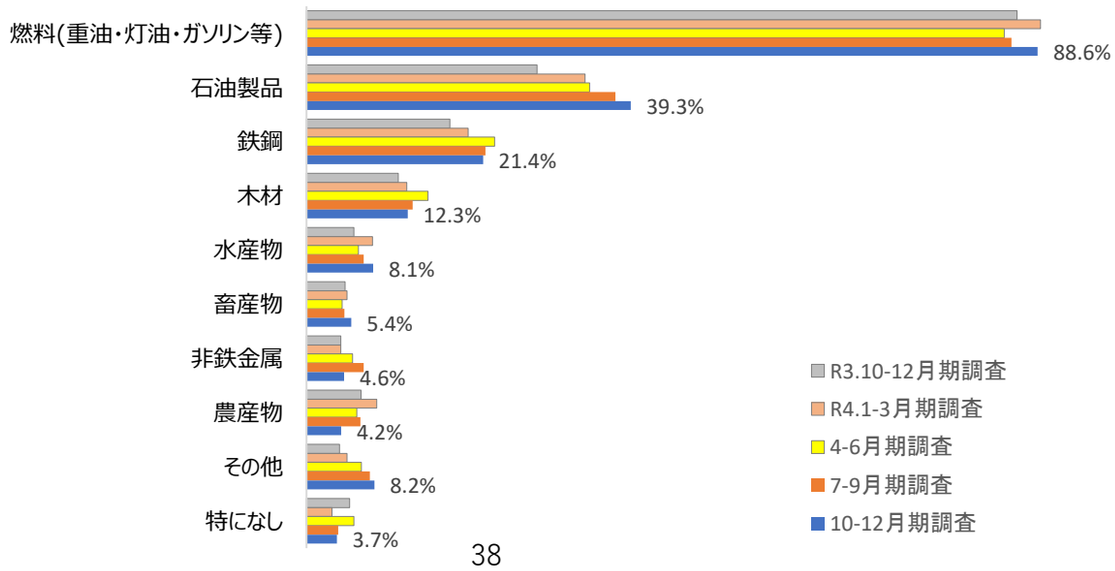


業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業67.0%と最も大きく、次いで製造業が50.0%となっており、建設業が33.3%と最も小さくなっている。



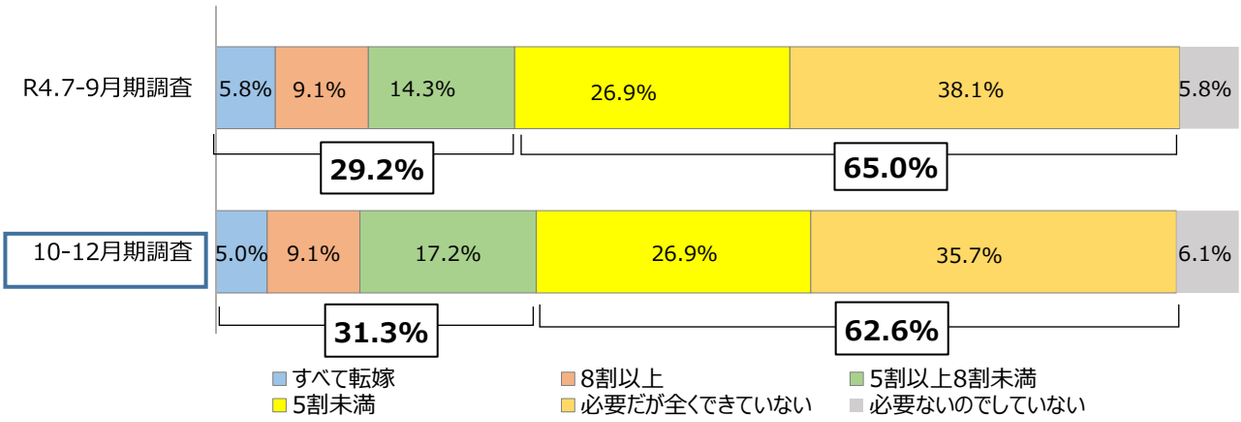
（２） 経営に影響を与えている品目

経営に影響を与えている品目について最も多かった回答は、「燃料（重油・灯油・ガソリン等）」の88.6%で、次いで「石油製品」が39.3%、「鉄鋼」が21.4%となっている。

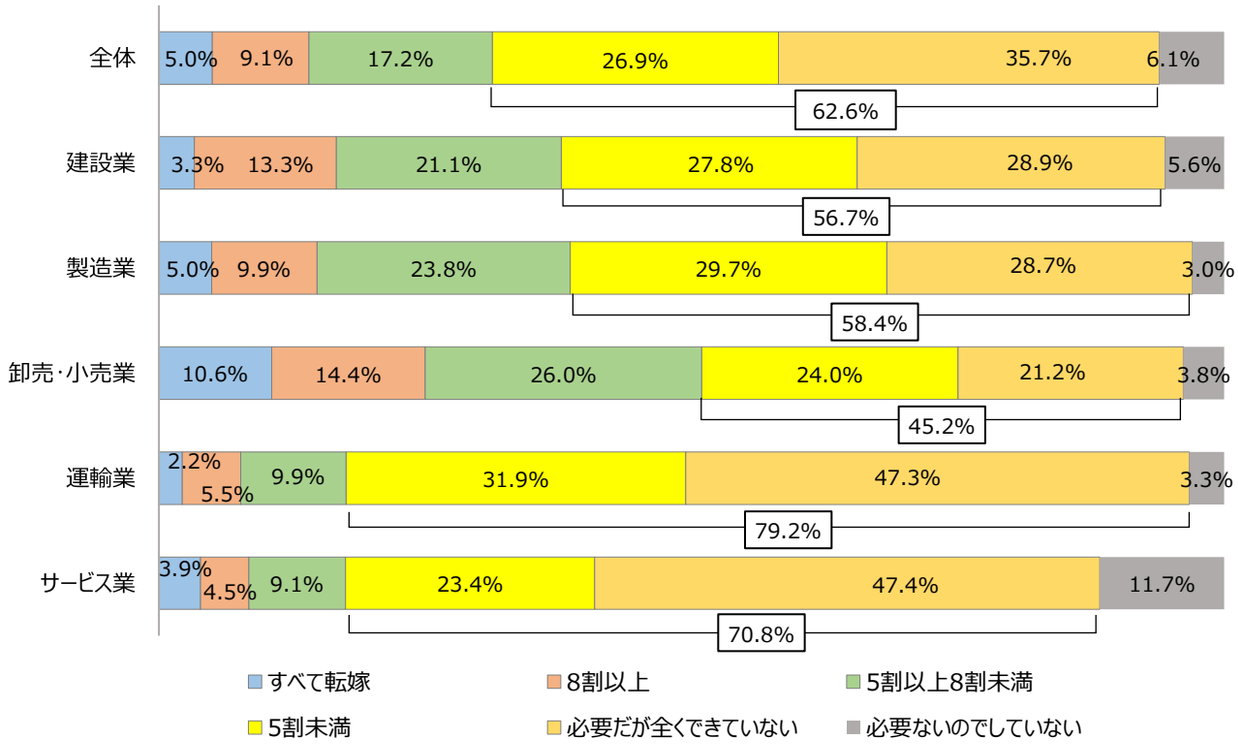


（３） 価格転嫁の状況

「５割以上価格転嫁できている」企業は31.3%。
「５割未満」及び「必要にもかかわらず全く価格転嫁ができていない」企業は62.6%

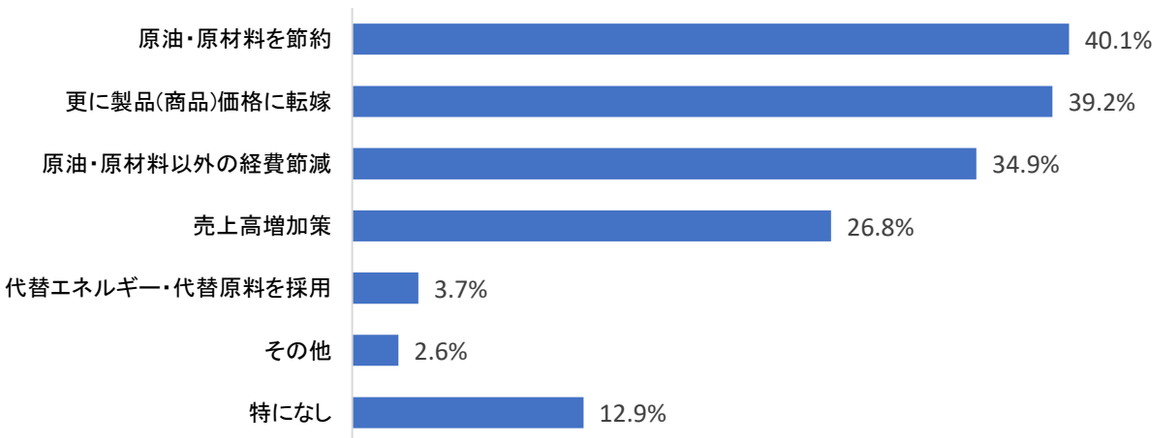


業種別では、特に、運輸業やサービス業では価格転嫁が進んでいない。



（４） 経営への影響緩和対策

経営への影響緩和のため、今後、「原油・原材料を節約する」が40.1%、「更に製品（商品）価格に転嫁する」が39.2%、次いで「原油・原材料以外の経費を節減する」が34.9%と続いている。

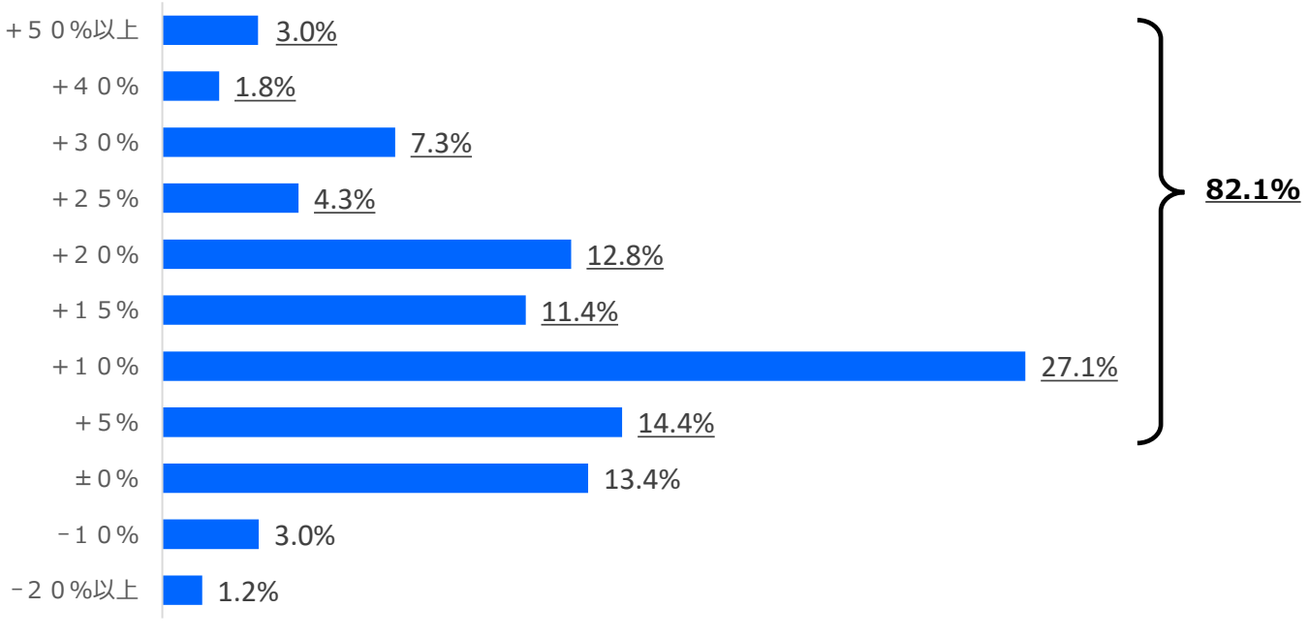


３ 電気料金の上昇について

（１）昨年9月と比較した電気料金の増減状況

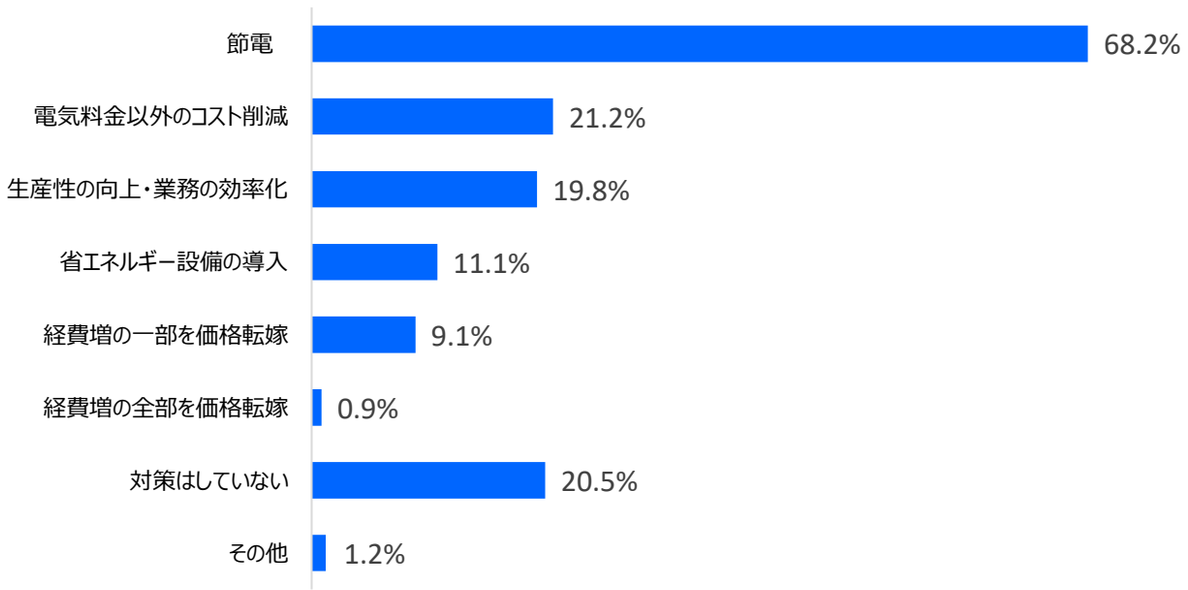
令和４年９月に支払った電気料金は、昨年９月と比較し、８割以上の企業で増加し、増加率は、「10%増加した」との回答が最も多く27.1%、次いで「5%増加した」との回答が14.4%であった。

昨年９月と比較した
電気料金の増減率



（２） 電気料金上昇の対策（複数回答）

電気料金上昇の対策として最も多かった回答は、「節電」の68.2%で、次いで「電気料金以外のコスト削減」21.2%、「生産性の向上･業務の効率化」19.８５と続く一方、「対策はしていない」との回答が20.5%あった。

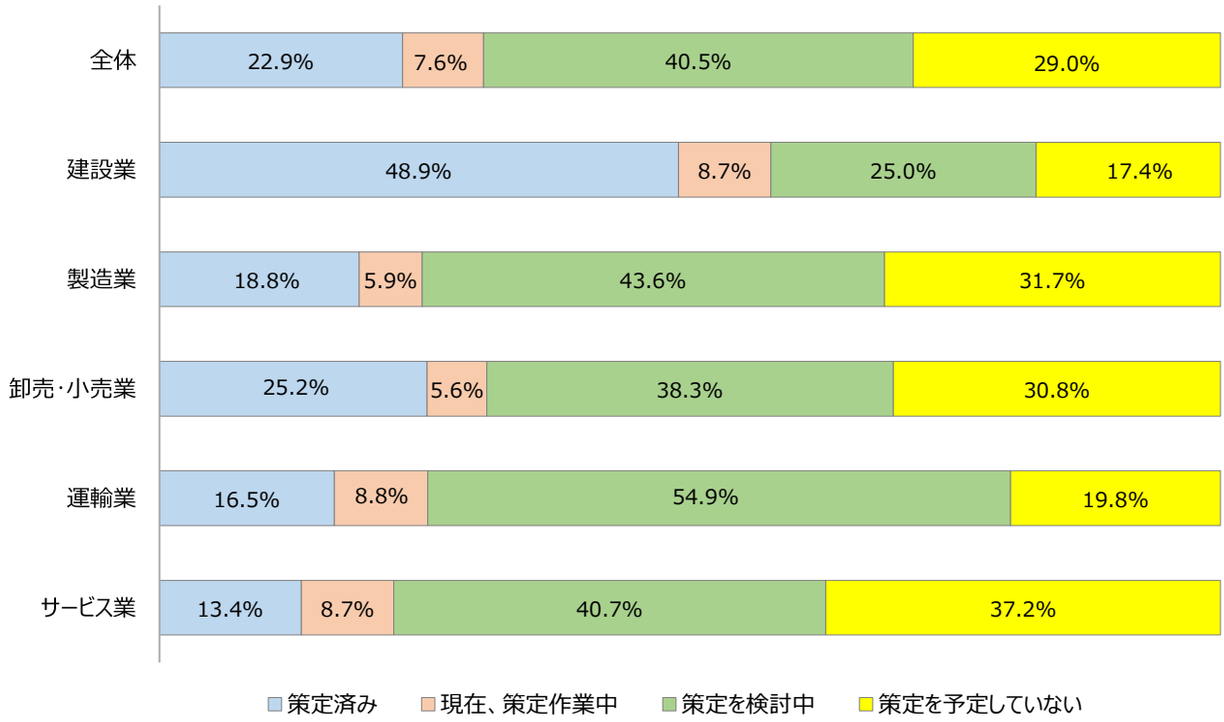


４ 事業継続の取組について

（１）事業継続計画の策定（ＢＣＰ）について

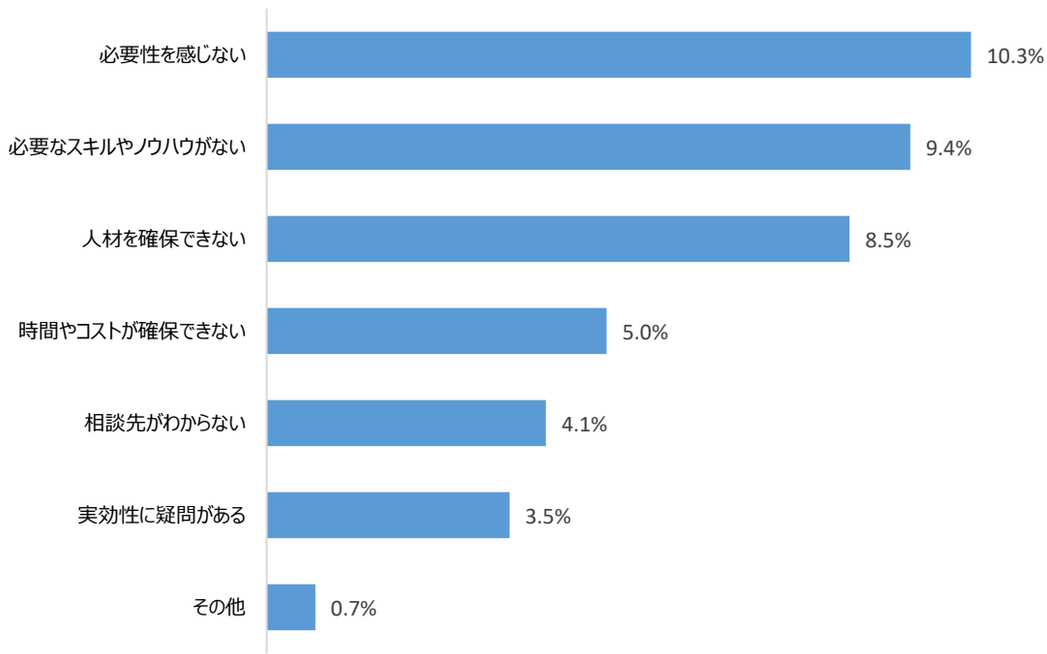
事業継続計画（ＢＣＰ）または事業継続力強化計画の策定については、全体では「策定済み」と回答した企業が22.9%、「現在、策定作業中」が7.6%、「策定を検討中」が40.5%、「策定を予定していない」が29.0%となっている。

業種別でみると「策定済み」と回答した企業の割合は、建設業で48.9%と最も高く、次いで卸売・小売業が25.2%となっている。



（２）「策定を予定していない」理由

事業継続計画等の策定を予定していない理由について、最も多かった回答は、「必要性を感じない」の10.3%で、次いで「必要なスキルやノウハウがない」の9.4%、「人材が確保できない」が8.5%となっている。（複数回答）



4　調査方法

1　調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2　調査時点

令和4年12月28日

3　調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4　調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数(A)	回　答企業数(B)	回答率(B／A･%)
総　計		900	570	63.3%
	札幌市を除く	701	441	62.9%
	札幌市	199	129	64.8%
業種	建設業	125	93	74.4%
	製造業	150	103	68.7%
	卸売・小売業	188	109	58.0%
	運輸業	131	91	69.5%
	サービス業	306	174	56.9%
資本金	5千万円未満	618	373	60.4%
	5千万円以上～1億円未満	156	108	69.2%
	1億円以上	126	89	70.6%
地域	道南	109	73	67.0%
	道央	382	249	65.2%
	札幌市を除く	183	120	65.6%
	札幌市	199	129	64.8%
	道北	132	88	66.7%
	オホーツク	89	49	55.1%
	十勝	94	56	59.6%
	釧路・根室	94	55	58.5%

(注)［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

5　ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「上昇」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「上昇」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200 社)】
業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「上昇」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス 20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第136回）

令和５年１月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html